京城日報
十六日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

露國の政變

▲臨時政府の支配下に 命令には三氏の名を署す

レニンは今や露都の一部に占居するのみにて他は全國を擧げて臨時政府の支配下にありカレジン將軍は南部露西亞の執政官となり尙臨時政府の命令にはケレンスキー、コルニロフ、ガレジン三氏の名を署せり聯合國各大使はケレンスキー氏と接觸を保ちつゝあり哥薩克兵はレニン派の聯隊なるレッドカードを殲滅せり露都住民はレニン派の掲示せる宣言書を引き裂きつゝあり(倫敦電報)

▲西比利亞獨立宣言

西比利亞は獨立を宣言し廢帝ニコラスを皇帝に戴く旨宣布せり(哈爾賓電報)

▲ケ氏露都を管理す

路透社の確聞する處に依れば露都は今やケレンスキー氏の管理する處となり假政府總司令部は莫斯科に置かれたり(倫敦電報)

▲在留邦人引揚げ內訓

西比利亞各地に於ける秩序全く紊れ在留邦人に對する危險狀態發生せるを以て其の筋にては在留邦人に對し長春地方に引揚ぐべき旨の內訓を發したりと(東京電報)

◎佛內閣辭職原因

佛國議會は首相パンルーヴェ氏が最高聯合軍事會議の目的を說明したる後百九十二票に對する二百五十票の多數を以て政府信任案を通過せり該信任案は政府の外交政策軍事政策に對するものなるが議會は政府が更に目下裁判に附せられつゝある各種不正事件に關する質問延期の要求を爲せるに對し百八十六票に對する二百七十七票の多數を以て之を否決せる爲め政府は總辭職を爲せるなり(巴里電報)

◎御歌所寄人仰付

十五日附を以て左の通り辭令あり(東京特電)

從六位 池邊義象
御歌所寄人仰付
文學博士 佐々木信綱
臨時編纂部委員ヲ命ス

◎鹽制借款經過

支那政府は客年十月四國銀行團に對して第二次大借款一億元の交渉を開始し鹽稅餘款を以て擔保とせんことを申出でたるが本年一月の倫敦會議は現時支那▲鹽稅收入激減し而も借款の擔保は僅かに鹽稅餘款に由る始末にて不足の虞あれば支那政府に對し更に地租の提供を要求し之が補充を爲すべき旨を決議したり而して此借款交渉の當初米國の銀行團復歸問題起り日本は英佛露三國の贊成を促がし米國の加入を勸誘する所あり其結果大に米國財界の意を動かせしも同國政府は先年同團を脫退したる關係上此申出に應じ難き事情あり交渉遲々として進捗せざる中に米獨斷交を宣し米國朝野の人士は均しく對獨問題に注意して其他を思はざる情形ありしが故に到底同國は▲銀行團に復歸せざるべしと觀測せられしかば借款金額の全部を日本にて擔保するに決定し之を支那政府に回答し具體的協議に移らんとせし折しも偶々支那政變勃發したるより交渉は中斷の[illegible]氏大總統となりて政爭一結末を告げ借款問題復活したれば四國銀行團は八月一千萬元の前渡を爲すに決定したるが[illegible]へて九月十日梁財政總長は[illegible]四國銀行團の代表者を[illegible]改めて二億元の第二次改革借款を提議したり其金額を二億元に[illegible]めたる所以は一億元借款提議當時とは國情を異にし▲借款の用途も變更されたるのみならず第一次革命借款の[illegible]借款金額は六億元を限度[illegible]總長の說明に據れば聯合國の[illegible]國匪損害賠償金の支拂も延期せられ關稅も亦改正せらるゝ爲支那の財政は頓に潤澤となり從つて此次の借款は一般行政に使用せず多年來の希望たる幣制改革の資金に貸せんとす故に二億元の金額は一時に全額を需要せざるに過ぎずといへり四國銀行團は對支貿易上爲替相場の變動を避けんと欲するにより支那幣制の改革を贊成したるものなりと(十三日奉天)

◎衷心我投資を歡迎す

代議士 樋口龍峽氏談

約二ケ月間支那南北各地の觀察をなし歸途去十六日京城に立寄りたる代議士樋口龍峽氏曰く

今度支那に行つた用向は政治方面の觀察を兼ねて信州の製絲家と同伴して日支合辦の事業を企畫する心算で行つたのであるが支那は▲上下の民心は我が投資を衷心より歡迎する有樣で前述の日支合辦事業は意外に早く實現すべき模樣である、南北戰爭も根本的の解決を見る事は可成りの時日を要するであらう、岑春煊氏の如き自ら進んで調停の任に當りたい事は山々であらうが何分にも現在では手許に一兵もない事であるし今出ると南の方へ何うしても肩を持たせなければ兇が附かぬ事は解り切つた次第であるから、今▲出る幕ではないと躊躇してゐる始末である、夫れ故南方が[illegible]つて北方が跋扈する[illegible]になるとか北方が優勝になるとかする場合は格別、何と云ふにも戰爭は手緩いのだから大激戰と云つても死者の十七八人も出れば大な騷ぎになるのだから[illegible]ならぬ[illegible]民政長官を適任だし又た本郷司令官も外交官[illegible]の人であるから▲是れ亦適任で、尤も支那人の間には多少の誤解もある樣な氣振がないではないが、徒の人々の骨折によつて今後誤解を解く事が出來るだらうと思ふ

◎鮮銀新記錄 四百萬圓に上る

十二日より公募を開始し十五日締切りたる朝鮮に於ける▲朝鮮事業公債の應募成績は鮮銀への申込總額四百零五萬四千零二十五圓に達し內現金申込み百九十萬四千圓證券の乘替へ二百十五萬一千六百二十五圓となりしが日銀代理店たる鮮銀扱ひの公債募集成績としては從來曾て見ざる金額を示せり尤も右の內には朝鮮銀行所有證券乘替並に同行の▲現金應募大部分を占め居るは勿論なるも然も純然たる朝鮮內の銀行會社個人の應募百十萬圓の多額を示したるは異數とすべし之れ當局の應募勸誘の行き屆ける事及當局の應募勸誘の旨を受け各地方銀行が相當の盡力をなせる事小額券の發行ありしため個人としても應募し易かりし事等の爲めなるべし尙ほ今回の朝鮮事業公債は內地に於ても▲應募好況なりし模樣に付申込額は募集額を超過せしならんも其の超過額並に超過の結果應募額をいかなる率にて募入するやの點は十六日迄不明なりと

◎鐵鑛採掘增加

入京中の載寧鐵山經營者西崎鶴太郞氏の談によれば八幡製鐵所增掘の結果載寧鐵鑛石の增掘大に必要なるを以て本年の五萬五千噸は大正七年には二萬五千噸を增加して八萬噸とし大正八年には更に增加して十三萬噸となすべき豫定なるが右增加の結果載寧現鑛山のみにては採掘上の不便不利あるに付更に現鑛山を約二里餘隔たれる農商務省所有新鐵山採掘の計畫ありと

◎定例長官會議

十六日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議開催各部長官局長(荻田總務局長は出張中に付缺席)所屬官署長等參集し山縣政務總監臨席の上諸般政務に就き協議を遂げたり

◎隊署長會議

京畿道隊署長會議は十六日午前九時半京畿道第一會議室に於て開催各隊署長[illegible]等出席午前松永道長官及び鄉津檢事正の訓話に次で午後新使河原地方法院長の訓話あり終りて協議に移り四時散會

◎鮮銀本店貸出

鮮銀本店の十月末に於ける貸出金額は口數六百十口其の金額一千七十六萬七千二百九十八圓にして之れを前月末に比し口數に於て百九十二口金額十四萬三千四百圓の增加を示し居れり又右總額の使途は左の如しと

業別	口數	金額
農業	一	五四三、〇六五
工業	六八	三五九、一六二
商業	五三六	七三八、八八七
其他	四	五七五、二八四
合計	六一〇	[illegible]

◎取引所設立

慶尙南道東萊郡左耳面華明里張禹氏は發起者三十名を代表し株式會社釜山米穀取引所設立認可申請書を十五日釜山府廳へ提出せり同取引所の資本金は三十萬圓にして株式を六千株に分ち營業所を釜山府內に設け法令の規定に從ひ仲買人米穀の賣買を爲すものにして株式は發起人に於て全部を引受け第一回拂込額を十五萬圓とし營業を開始すべく立會時間は前場及び後場の二回とし前場は一節より六節迄後場は一節より四節迄に分ち立會を行ふべしと(釜山)

◎府內道路改修

京城府に於ける府內道路改修の件は過日府協議員の協贊を經其々當該區域居住者に豫め通告を發したるが今回之が第一著手として近く諸町多々見橋院橫と旭町一丁目白水下二箇所の改修を行ふこととなり府廳は十五日關係地區關係者に對し土地收用通告を發したりと收用價格は土地は大體地價を標準とし家屋に對しては別に相當移轉料を支出すること從前の如くなりと

◎馬晉自動車開通

馬山晉州間自動車は愈々十六日開通往復二回にて料金は從來の四圓三十錢を改め三圓に引下げたり(晉州)

◎鄉校財產豫算

京畿道管內に於ける本年度鄉校財產歲入出豫算額を聞くに歲入合計一萬二千四百五圓にして內財產收入一萬零四百六十六圓其の他一千九百三十九圓を算し歲出合計一萬二千四百五圓の內學校經費使用額八千六百七十六圓、享祀費二百十八圓、修理費六百四圓、雜給雜費六百四十二圓、管理費三百四十四圓、公課一千八百九圓、豫備費百十二圓を算せりと

◎臨時船舶職員試驗

十二月一日より總督府遞信局元山出張所に於て左記の種類に限り臨時船舶職員試驗施行せらるべく詳細は十七日を以て告示さるべし
▲乙種船長▲乙種一等運轉士▲乙種二等運轉士▲湖川港乙種一等運轉士▲同乙種二等運轉士▲丙種船長▲丙種運轉士▲小型船丙種運轉士▲一等機關士▲二等機關士▲發動機船二等機關士▲三等機關士▲湖川港三等機關士▲發動機船三等機關士

◎京電の新專務

故西突氏の逝去後空位の儘となり居れる京城電氣會社の專務取締役は岡氏が支配人より專務に就任せし如く明年一月の株主定時總會にて現支配人木本倉二氏の昇任を見るべしと噂さる尙ほ木本氏は大橋社長と關係深く氏の京電支配人就任は大橋氏の推薦にかゝるものゝ由

◎支那抗議と米國政府

華盛頓來電=米國政府は今回支那が日米兩國の協定に就きて發したる支那公使の抗議を以て必ずしも米國の回答を要求するものに非ずと認め居れり何んとなれば支那は單に外國相互間の協定に依りて自己を束縛するものと認めざる旨通告したるに過ぎざるを以てなり尙支那公使は其の通牒に於て左の如く宣言せり(倫敦電報)
支那政府が友邦に對して執れる主義は常に一貫し正義と公平なり而して條約に依り他國が受くる權利は尊重し居れり同時に支那は領土の接壤に依り生ずる特殊の關係は現行條約に規定する範圍內にて常に之を尊重す

◎三督軍調停提議

江蘇江西湖北の三省督軍は總統に宛電を發し時局の調停方を提議せり(北京電報)

◎兵器借款成立せん

兵器借款に就き米國は四國財團側と意見を異にせる點あり未だ確定するに至らざるも多分米國側の讓歩により成立を見る事となるべし(上海電報)

◎朝鮮の亞鉛鑛に就て

大阪亞鉛鑛業株式會社 左納榮三郞氏談

大阪亞鉛鑛業株式會社社員左納榮三郞氏は今回[illegible]平安北道厚昌郡[illegible]鑛は總坪數三十八萬七千二百六十坪にしてソンエタ、イタリアナ、ミニエーレ、コレア會社が曩に韓國政府時代に特許を得爾來同會社に於て採掘を經營し居たりしを今回大阪の藤田彥三郞(藤田組)範多範太郞(範多商會)兩氏及び大阪亞鉛鑛業會社の手にて買收を爲し去る十三日名義書換其他一切の手續を了し茲に始めて厚昌鑛業株式會社の成立を見るに至れり

▲本會社の資本 總額は四百[illegible]

[illegible]▲南滿鐵道會社に交渉を遂げ敷地の買收並に精煉工場の建設等總ての準備を終へ厚昌鑛業株式會社の成立と同時に兩社の施設より落手する筈なりしも伊太利政府よりの書類延著せし爲め本年の結末前に着手すること能はざれば明春解氷迄延引するの止むなきに至れり現時大阪亞鉛鑛業株式會社の事業狀態は歐洲戰爭以來亞鉛鑛は海外より輸入の途殆んど杜絕せる爲め需要の增加を來し爲めに漸次資金を增額し現在は資本總額七萬五十萬圓に達し居れるも▲益需要を增加せる傾向あり[illegible]

▲理由にて中止 現在にては久原も手を引き只僅かに神戶の鈴木、三井と本社の三個所位が盛に精煉せるに過ぎざるべきに亞鉛の需要は益々增加しバケツ等に過ぎざりしては亞鉛板、純亞鉛製品と亞鉛及び銅の合成にて製出せる眞鍮に至りては砲彈銃丸のケース及び銃器の要部より船舶其他の器械の要部に使用するの量著しく增加を來せるを以て亞鉛鑛業の前途は益々有望なりと云ふべし(釜山)

◎香港總督訪問

香港總督ヘンリー、メー氏は十六日午前十時總督府に山縣政務總監及び久水外事課長を訪問し入京の挨拶を爲し暫時會談の上辭去せり尙同氏は十七日午後元山へ向ふ由

◎入見局長渡支

鐵道局長入見次郞氏は東滿鐵道並に支那鐵道視察のため十七日午後九時四十分南大門驛發列車にて出張の事となりしが先づハルビンに北上して東滿線の若干を視察し更に北京に下りて吉長鐵道を視察し更に北京に出で京漢線を漢口に下り上海に出で津浦線にて濟南に上り青島に向ひ大連を經て十二月中旬歸京すべし

◎久保理事大連發

大連に出張中の滿鐵理事京管局長久保要藏氏は十五日夜大連發十七日午前八時着列車にて歸任すべしと

◎入江書記官歷訪

入京中の拓殖局書記官入江海平氏は十六日總督府に山縣政務總監を初め各長官局長其他を訪問し更に所屬官署朝鮮銀行東洋拓殖支店其他の會社銀行等を歷訪挨拶をなせり

◎大塚參事官出張

大塚總督府參事官は十七日夜出發黃海道瓮津二浦遂安方面の視察をなし平壤に出で新安州を經て雲山金鑛の視察をなす由なるが其の歸任は十二月上旬に入るべしと

◎石塚總裁歸期

南北滿洲並に北京に旅行中なる東拓總裁石塚英藏清水西山氏等一行は十七日歸京の筈なりしも旅程の關係上十九日若くは廿日に歸期を延引せる旨關係筋へ電報有たり

◎川上東拓理事歸期

南鮮方面視察中の川上東拓理事米山參事、樋屋技師の一行は來る十八日淸州より歸任すべし

◎學事視察團歸京

總督府主催滿洲學事視察團一行卅五名は豫定の如く滿洲各地の學事視察を了へ十五日安東縣著同地にて解散せしが內七名は十六日南大門驛著にて歸京團長上田駿一郞氏も十六日夜歸京すべく其他京城より參加したる人々は義州、平壤、鎭南浦を經て廿日歸京の筈

◎朝電長手線入札

朝鮮瓦斯電氣株式會社の新敷設に係る釜山市街電車線長手通は去る十三日同社に於て工事請負入札を行ひしに北山熊太郞に落札したるを以て愈よ十六日より工事に着手し來月十五日頃迄には竣工せしめ本年內に開通せしむる豫定なりと(釜山)

◎釜山土木局出張所移轉

土木局釜山出張所廳舍は過日來榮町に移轉すべく工事中のところ此程竣成したるを以て去る十三日新廳舍に移轉したり

人事消息

▲陳列館來覽人員 十月中朝鮮總督府商品陳列館觀覽者數は內地人三千七百二十三人朝鮮人五千百八十七人外國人四十二人計八千九百五十二人にして開館日數二十六日一日平均三百四十二人餘なりといふ
▲西崎鶴太郞氏(朝鮮鑛業會議所會頭) 十四日夜入京龍山花月旅館へ
▲左納榮三郞氏(大阪亞鉛會社員) 同上
▲長濱武雄氏(朝鮮興業會社長) 同上
▲岡村工務課長 電信電話無線電話航路標識事務視察の爲東京大阪三重千葉各地へ往復約四十日の豫定を以て兩三日中に出張すべし
▲伊藤遞信事務課長 東海岸航路調查並に商會線開通列席の爲十六日出發來月中旬歸任の筈
▲野菊文男氏(東亞所長) 十六日午前南大門驛發五日間の豫定を以て南鮮地方視察

彼れ此れ

○美人傾國は、何時も新しき反面の眞理にして、歐洲大戰に於ても、幾多の新例を示す。希臘王も、ロマノフ家も、何れも獨逸系の女に依り、國を滅ぼせり。露國過激派の首領にして、露國を滅ぼさんとする、彼レーニンの背後にも、ヒルダ、フォン、シャウムベルグ男爵未亡人あるを忘るべからず。彼女や實に絕世の美人にして、其の艶と、位置と、富と、而して獨帝よりの賞金は、彼レーニンを巧みに操縱す。過般處刑されたる、艶麗を以て鳴りし、美人マタ、ハリも、獨犬として、聯合軍の武器の機密を、竊取したる娼婦也。眞に外面女菩薩、內心女夜叉、美人傾國、夫れ恐るべき哉。
○八十の老齡を以て、大字典編纂中なりし、布哇前女皇、リリウアカラー、遂に死去すと。世界の元氣な婆さんが、一人缺げたる譯也。
○健脚宗の開祖、福島安正將軍、愛孃の結婚に際し、訓誡一首を與へて曰く。星霜廿歲恰如夢、喜爾擬適著六珈、敬事夫君與姑舅、修身莫復顧生家。

淮陽地方金融組合登記公告
理事古川若二郎轉任ニ付左記ノ者大正六年拾月貳拾九日任命就任ス
江原道淮陽郡淮陽面邑內里七統六戶
西菊馬
右大正六年拾壹月拾參日登記
京城地方法院鐵原支廳

購買 龍山陸軍倉庫
玄米、精米 洋細 古蓆袋
詳細ハ十一月十七日以降朝鮮官報ニアリ

購買入札
一、毛布 五百枚
右購買ス入札希望ノ者ハ本日以降總督府官報ヲ見ヨ
大正六年十一月十七日
警務總監部

◎募集 ◎代理店及外務員
月收五拾圓以上國家的有益事業に有無不問優待招聘す希望者履歷送れ(但し返信料は必ず添付の事)
東京市神田區猿樂町十八番地
合資會社 帝國勸業會社
電話神田一四五〇、一四五一、一四五二

新荷著廣告
米國製最新式スケート
三圓(子供用)
四圓(大人用)
五圓五十錢(大人用)
六圓(大人用)
八圓(大人用)
京城本町二丁目
シノサキ運動具部
電話一三〇三番
振替口座京城四六八番

明治町佛蘭西教會坂下鐘路町入口
齒科 女醫 中村齒科醫院
電話一五八三番

安心の出來る靴
ボックス皮製編上
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢
ボックス皮製短靴
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢
ボックス皮製深ゴム
一號金五圓五十錢
二號金六圓五十錢
三號金七圓五十錢
四號金八圓五十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適の御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候御注文次第送料實費にて御送付申上候皮付見本型錄進呈
東京府御用
東京京橋[illegible]町
日野製靴店
(電話京橋[illegible] 振替東京[illegible])

全軍の感激す

露營地に侍從武官長を御差遣

十五日夕刻より兩軍の飛行機は盛んに光明彈及び爆彈を投下し夜に入りて雨愈々激しく伊吹颪肌を劈く裡を或は撤宵敵陣の偵察を爲し或は露營せる等約二里の戰線に兩軍對峙せり　天皇陛下には大本營の雨漸く劇なるを聞し召し深く兵士の勞苦を大御心に懸けさせ給ひ十五日夜侍從武官長を召され南軍露營の狀況を視察せよと御出され侍從武官長は直ちに[illegible]して聖旨を傳へたるに全軍聖慮の優渥なるに感激せり（彦根特電）

●冬季の演習は朝鮮が好い

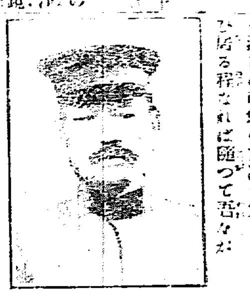
鶴田軍醫總監談

[illegible]

余は朝鮮及び青島に於ける軍隊の衛生狀態を視察し更らに元山清津を經て羅南に到り秋乙より會寧鏡城に到り本月末京城に歸著の豫定なり朝鮮は

▲寒暖の差 激烈にして軍隊の保健上遺憾の點尠からざるを防寒の設備完全し居るが爲めに比較的寒氣の影響を蒙らざる者の如く

▲内地に於て想像する程苦痛に非らざる可しと考へらる、只寒氣餘りに激烈なる結果[illegible]を訴ふる者多きは遺憾とする所にして軍隊に於ても兵の個人衛生に關しては常に注意を怠らざる[illegible]



[illegible]際に演習の際の如きは鹿兒島方面の師團より入隊したる者も[illegible]演習は朝鮮の方[illegible]居る程なれば隨つて[illegible]

▲肺炎患者 の發生も幾分減少しつゝ有り次に軍隊の保健上最も憂ふ可きは赤痢猩紅熱等の傳染病の流行なり由來朝鮮人の衛生思想は頗る幼稚にして赤痢病患者の如き

▲一日も業 を廢せざる程なれば其の蔓延も激烈を極め從つて其の病毒は軍隊に浸入する場合も[illegible]行軍の際の如き[illegible]地方に於ける水の不良の爲め健康[illegible]

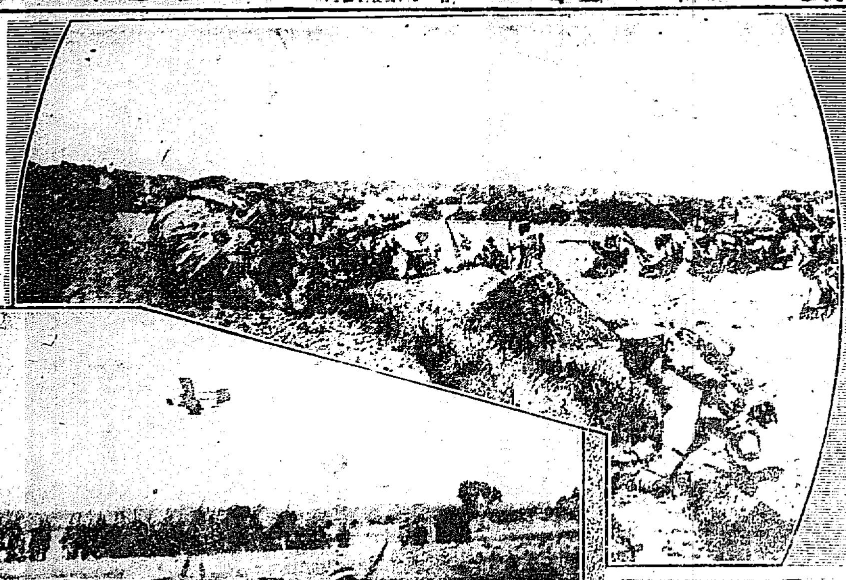
▲飲料水に 注意しつゝ有り[illegible]近年地方民が知識を有して軍隊[illegible]

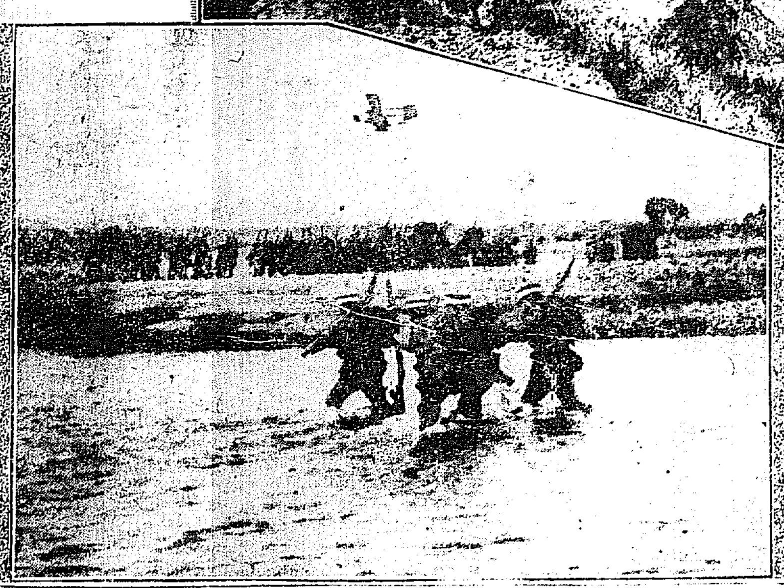
▲衛生狀態 を向上せしむるには寒氣に對する各人の警戒と地方民の衛生思想を向上せしむる[illegible]が先決問題なりと信ず

特別大演習畫報（一）

南軍の進擊（佐久良川附近）

北軍日野川を渉る（十五日朝）





●壯烈なる空中戰

十五日夜南軍の二飛行機は北軍一機の逃ぐるを追擊するや北軍の一機之れを援護し彦根附近の空にて最も壯烈なる空中戰演ぜられ爆彈を投下せしより數萬の見物人は熱狂せり（彦根特電）

大阪期米

十六日後場　全部寄付　出來不申

買物多く八錢を返し七錢引け二十圓十五錢と寄り先大阪の錢は十八錢七錢六錢五錢四錢七十四錢[illegible]らざる入値に七十六錢七八錢を往來し大阪安報に五錢と下り四節[illegible]

七十六錢八錢七錢七錢三節七　十八錢七錢六錢五錢四節七十四錢　五錢六錢五錢六錢七錢六錢

仁川米豆取引所

平均　一節　十九圓七十七錢
段　二節　十九圓七十七錢
値　四節　十九圓七十六錢

●一家四人殺害さる

十五日奈良縣添上郡和田山崎某夫婦及び娘二人何者にか殺害され居るを發見し犯人嚴探中（大阪特電）

●猩紅熱續出す

京城明治町一丁目官舍小田花江子（一二）は十三日發病猩紅熱として總督府醫院に入院加療中▲南大門通り五丁目二十九番地[illegible]の妻前川きよ（二七）は十五日猩紅熱と診斷本公先なる御成旅館及び同[illegible]

●採木公司分局を襲ひ八千餘圓を強奪せし兇賊逮捕さる

本年十月二十四日夜午前三時頃鴨綠江採木公司十三道溝分局を襲擊して八千餘圓を強奪したる數人組の怪賊あり犯人は何れも鋭利なる日本刀を携へ居り戸障子を切り破りて亂入し會計係支那人王光年に斬りつけ

▲三箇所に輕傷 を負はせ前金を迫りて金庫に格納中なる前記の金額を強奪して逃亡したるものにて爾來犯人嚴探中の處咸南新乫坡鎭憲兵分遣所の手に逮捕されたり犯人は咸南三水郡江鎭面新乫坡里居住の大原茂吉及び同人方同居中の大江勇作（三）田岡鶴吉（三二）同郡自西面全水里居住西岡來作（三）及び自稱加藤重弘の五人組にて加藤のみは尚逃亡中なるが

▲他は悉く逮捕 され取調べの結果最初は容易に自白せざりしも遂に包むに由なく悉く犯行を自白するに至り同時に二千三百餘圓を所持し居るを發見し押收せり犯行前彼等は新乫坡鎭居住の支那人孫述鴻を捕へ拳銃を以て脅迫したる上手先に使はんとしたるも孫は恐怖の餘り身を以て逃走したることあるより遂に露現して檢擧されたるものなりと

●呉服代八百圓

咸南北青郡老德面内里居住の淺川金太郎（こ）は元山旭町二丁目呉服商上島熊次郎方に雇はれ呉服行商中昨年七月より本年七月迄咸興、利原、北青等の諸郡を行商して賣捌したる代金の内八百五圓餘を[illegible]

●鍾路の火事

十五日午前五時十分鍾路三丁目五十七番地材木商李春三方より出火[illegible]損害三百餘圓

●虎狩隊狩場に向ふ

高原有志歡迎

虎狩隊一行は十六日午前九時半高原に著せり土地の有志は停車場前に歡迎會場を設け一行を歡迎す此の時後方の山より舞ひ來れる雉の鶏は會場近く九天に舞ひ一行の前途を祝福するに似たり土地の古老も斯くの如き事は稀有の事なりと稱し居れり一行は停車場より馬に乘り狩場を指して進發す（高原にて特派員發電）

●患者を騙し殺す

全南光州郡飛鴉面新加里[illegible]は梅毒にて苦しみ居る[illegible]方を依頼したる際[illegible]

●昌慶苑動物園名物象の病氣

毎日二升宛の酒を飲まして注射をしたり下剤を掛けたり

昌慶苑動物園の大象（雄）は去る明治四十五年[illegible]

▲非常に健康 [illegible]

▲以來同園で [illegible]

▲何れも一癖 [illegible]

特別大演習

▼演習氣分に

彦根にて　青　假生

彦根驛に著くと漸く演習氣分が目前に展開せらる、第一目に着くは驛前の大繁門で地方には稀に見る壯大なものである、驛前の廣場は右に一體に數百輛の人車が恰も何か[illegible]たかの如く順序正しく整列して大れ〱一千人の客[illegible]を待つて居るのだ

▲緑門を潜る [illegible]

▲顔馴染が多 いので[illegible]

菊灯と懐

京城の賴母子講は現在十圓掛以上のもの大口以上あつて其他の小さい賴母子講を入れると全部で三千口以上もあるから此金額は四五十萬圓以上に達する▲現に總督府出勤者の中でも二三十口以上の賴母子があり京城府廳出勤者でも些か五口位あらうとの事である▲其他銀行會社大商店等でも大抵は二十口以上、少きも二三口の講があるから前記の四五十萬圓の金額は或は間違ひない所であらう▲現に某運送店主の如きは七八十口の講に加入して一箇月の掛金が驚く勿れ二千四五百圓に達すると云ふ▲所が此の二三千口の講が皆んなが皆んな確實なものとは認められぬ、判つきりした事は分らないが此中三割は怪しいものと認めねばならぬ▲夫れ故其の筋では狹う是等不正の賴母子に眼を著けて容赦なく檢擧する方針であるとの事▲故に多數の講に加入してゐるものが一度蹉跌くと大變でそれからそれへと波及して飛んだ迷惑を著る者が澤山出來る▲此の間も南大門附近の某商店主が死亡した爲め倒産した可成の商店が七軒あつたとは實に氣の毒な次第である

▲訂正　十六日朝刊三面所載小生宅盗難[illegible]御訂正相成度候十一月十六日府内永樂町二丁目小林[illegible]

讀者文藝　課題募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事　▲締切は一週間後[illegible]

書畫骨董入札

[illegible]

天氣　晴れ一時曇り　十一月十七日

商況

債券現物特電

[illegible]

京公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿糸布昇騰

[illegible]

綿布龍シー八圓五十五錢

二十三錦先物九圓

●製粉先高氣構

[illegible]二十錢（前日より）十五錢高の入電なり

南大門の穀

[illegible]

京城正米

[illegible]

●生果は區々

[illegible]

仁川期米

▲十六日前場（軟引）

兵庫二十三圓　四十六錢　大阪天候雲天[illegible]五

錢安の入電

兵庫四十八錢　東京二十三圓八十九錢

東京四圓○三錢　兵庫四十七錢

大商内行はれ稍軟弱の成行

仁川米豆取引所仲買人　今村篤次郎

仁川米豆取引所　十六日の一月限

[illegible]

白米標準値

二十四圓

小賣白米

二十四錢五厘

中限の買代り

[illegible]

遂に解合成立

[illegible]

●五倍子強硬

不良物多く品質は例年に意外の減收

●牛皮下濺ぶり

大皮十五圓小皮六七圓方下落　内地氣配　傳へ内地安

●金市穀好況

[illegible]

各地商況

市場雜觀

[illegible]

▲十六日後場　大阪前場の安止めを受けて先十九圓七十三錢と四小安に寄付たるも後場中限二節二十圓十五錢四節十五錢八錢平均値段十六錢△先限一節十九圓七十三錢二節五錢六錢七錢八錢七錢八錢七錢二過

御野立所 懐しき古戰場

鏡山（第一日）

近江富士の名を以て知られた三上山の東、東海道線野洲驛の東約一里半の地點にある鏡山は標高三百八十四米突、蒲生郡鏡山村に聳えてゐるが山麓は中仙道で山上に立てば廣漠の蒲生平野は雙眸に集まり景勝の位置を占めてゐる

鏡山いざ立ちよりて見てゆかむ
としへぬる身は老いやしぬると（大伴黒主）
花のちる山のふもとの鏡川
日を經て春はとくかへりけり（夫木集）

など古歌に詠まれて昔から名所に數へられた目出度い山である

山麓　は鏡氏の祖先を祀つた鏡神社が鎮座あり鳥居の前には源九郎判官義經の烏帽子懸け松といふのがある、今は枯れた株が高さ一間程に伐られて遺つてゐる、又中仙道に沿うて義經の元服池がある、今も清水が湛へてゐる、源平盛衰記に「源義朝の遺子牛若丸、鏡の宿にて元服し九郎義經と曰ふとある義經は陸奥の藤原氏に依つて武名を揚げんと陸奥の金賣吉次と倶に鞍馬山を去つて東行し鏡宿に投じた其夜元服したのである、鏡宿は義經發祥の地と云つても宜い

鏡の宿　今の鏡山村であるが此地は天日槍の日鏡を收藏した處だと傳へられる、日本書紀垂仁記に「新羅王天日槍入近江吾名邑暫居、是以近江國鏡谷陶人則天日槍從人也」とある、吾名は今の苗村で、苗は吾名の略、鏡谷は鏡山の東麓で、今の大字須惠は即ち陶人の遺址である、鏡山の北を流るゝのは日野川の末流で蒲生川とも仁保川とも云ふ南には三條の小河がある、末は仁保川に合するが小河ながらも降雨の後には一時水が出て土砂の流出夥し、その昔善光寺如來が中仙道を通過の時に滔々凄じい勢ひで大水が出て通行困難であつたが如來がさしかゝらるゝとさしもの大水もピタリと自ら堰き止まつたとの傳説に因つて土地の人は善光寺川と呼んでゐる

鏡山の　續きの星崎は鏡氏の城趾である、鏡氏は東鑑に『承久三年六月、鏡右衛門尉久綱、注姓名於旗面、殘留合戰、遂自殺』「見旗銘悲拭涙」と記された勤王の勇士、祖先は佐々木定重で久綱戰死の後は世々佐々木氏の旗頭として星崎城に居た、鏡陸奥守兩規其子兵庫頭は六角定頼義賢に從うて軍功を樹てた、程近き馬淵村大字馬淵は有名な木村長門守重成の出生地である、木村常陸介は關白秀次の罪に坐して妙心寺で自害し其妾懐妊の身を馬淵に匿し一子を産んだ、之が重成で、長じて豐臣秀頼に仕へ元和元年大阪陣に東軍を惱まし勇名を末世に殘したことは人の知る所、要するに鏡山附近は昔から武人に淺からぬ縁故を持つた土地である

茂賀山（第二日）

犬上郡下大上郡龜山村大字賀田山なる同村小學校の裏手に在る標高百十七米突の小丘が今度の大演習に樞要地點となる茂賀山で一に茂賀山ともいふ、彦根町からは順禮街道を南に進み左折して達する行程一里十八丁、山は東西三町南北五十間位で兩端には松が生ひ茂り北面には栗樹が多く南面は桃や梨などを植ゑ込まれた果樹園になつてゐる

絶頂には　出火の急を報ずべき警鐘が設備され東端の平地に立し碑面には故乃木將軍の健筆の跡が深く刻まれて覺えず襟を正さしめる絶頂に立つて眸を放つと北は犬上郡の平野を隔てゝ金剛坂の雄姿を望み其前面には安表に巍然たる伊吹の靈峰を始め湖水の連峰を展開し琵琶湖上を往來する浜帆片帆は手に取る如く更に南に望むと湖東平野は眼前に開けて風景絶佳、院線河瀬驛は脚下にあつて其間僅に七町

南方近く　流るゝ宇曾川は淺井長政の大勝を占めた古戰場である、淺井三代記に『淺井備前守長政江南に働き、野良田（今の愛知郡稲枝村大字野良田にて茂賀山の南約一里）へ押出し、先勢は宇曾川より二町許北に陣取り、長政の本陣は吉田口にすゑ給ふ、六角勢は肥田の城へ取入り、宇曾川を隔てゝ陣取る、其日兩軍一旗許りの人數段々にもみあひ、一度に川へ驅込戰ひたりしが、六角勢敗北と爲り、箕作へ退き給ふ、長政は佐和山へ引取り、愛知川邊の仕置して、小谷へ歸城』とある、今秋の大演習に此古戰場で長政たるものは抑も何れの隊ぞ

茂賀山の　西南に近く標高二百八十餘米突の荒神山がある、一に平流山ともいふ、三國傳記に『土俗、昔大蛇あり、天竺靈山の一峰を盗み取り、之を大湖の濱に置き其下に蟠る、蛇は化して巨岩と爲り、今に平流山に在り』と見ゆるのは此山で山内の奥山寺は僧……

宮山（第三日）

彦根新町より千本村大字東沼波に折れて約十町、同村大字大堀の中山道に接觸する交叉點の異上に當る標高百五米突の小丘は宮山で丘麓には千本村役場や千本村小學校がある、山内は樹叢かな松樹が茂り合ひ絶頂約十坪は平地になつて芹川の流れを背に、犬上の平野を前に控へて居る、背面は今上陛下が御東宮におはせらるゝ時御登臨あらせられた鞍掛山其他の山嶽で眼界を塞がれてゐるが前面は河瀬驛、南青柳、高宮、千本、稲山、賜滿の各村が脚下に展開し樞要地の茂賀山も淡く其姿を浮かすのが見ゆる

山腹に　岩清水神社の祠がある、境内の亭々天を摩せんとする二本の老杉には昔から天狗が棲むと云ひ傳へ山内の樹木の伐採や落葉の掻き取りは嚴禁されてゐる背後を流るゝ芹川は一に大堀川と云ひ水源の一は美濃の土岐山、今一は阪田郡の鞍前から出てゐるが彦根城下の濠は此水を引く、往古は不知哉川と云つて北岸にある鳥籠山と共に古くから和歌に詠まれてゐる

淡海路の鳥籠の山なる不知哉川
けふのこのころはこひつゝもあらむ（萬葉集）
淡ろへきあさせもいさやさみだれに
水まさり行くとこの山川（夫木集）

なぜあるは即ち是れ

約一里　の西南には官幣大社多賀神社がある、祭神は伊弉那岐尊とも云ひ犬上縣主又は犬上君の祖神なりとも云ふ、犬上君は日本武尊の子稻依別王の後、又犬上縣主は天津彦根命である、何れにしても我が皇室の關係は深い『此の御神は人の性命を護らせ給ふ御事とて、諸拜新願の徒古今跡を絶たずと云へり、そは此の御神の御誓に『吾則當日將千五百頭』と宣給ひしに縁由するならん』と古書に見ゆ、多賀の北約一里に高宮町がある、犬上郡では其賓力の點に於て寧ろ彦根町を凌ぐと云はれてゐるが此處には高宮氏の居城の蹟がある、永祿年間には此地方一帶に戰亂の巷となつた

關税改正と張督

張督軍は關税改正に關する政府の諮詢に對して覆答して曰く『奉天、大連、安東、營口各税關は省外人の經營に由るも本省長官は直接の關係ありて漏税及び禁止物輸入の檢査等は重要事に屬すれば爾後軍需品、阿片、現銀銅錢等は條約に照らして其取扱を勵行し又税關任用人員の如き之れを外國人に委する既往の失態は追ひ難きも來者は猶戒む可く速に法を設けて本國人を採用す可し又關税改正は獨宣戰の一條件なれば宜しく此時期に於て利權を回收し其他不當の處は專門家の研究に由て修正を提出し以て完善を期す可し』と

日支長電聯絡

公主嶺交渉局長戴氏は昨年來四平街より梨樹等各縣に到る長距離の聯絡を取る事に我當局と交渉中の處二三日前愈々決定したり

吉林鉛鑛公司

近ろ湖南省の富商某一□なる者は吉林各鑛踏査中の處磐石、伊通兩縣の鉛鑛數個處の鑛質太だ精良なるより之れを採掘す可く目下株式の鉛鑛公司組織中なり

獨人回教煽動

新疆督軍楊增新の電報に據れば獨逸人若干名は北京天津より其手代たる支那人と共に同方面に入り回教徒を煽動して支那政府に反對して歐洲へ出兵し或は若力を西方の戰場に送り又は其兵器製造所に工作せざらしむべく愚民を恐喝しつゝありといひ尚ほ又支那政府が彼等を保護せず彼等を驅りて歐洲戰場に送り又は歐洲の工場に工作せしめ以て騷亂の發生を免かれんと圖らば共に起つて政府に反抗すべし獨逸人の言に從へば若し同人にして事を起さんとせば露國及び印度より軍器を輸入し露國及印度の革命黨が獨逸人と提携し英露の範圍を脱せんとするが如く自由獨立の民たるべしとの諸言行はる支那政府も此諸言の影響する處甚大なりとし楊督軍に命じ哈密衛王馬克沙巴沙と會同して平和を保持し回部の諸族を撫衛し獨逸人の煽動に乘せられざる樣警戒すべしと訓告したり因に同地方には獨逸人外土耳其人及び支那國民黨員中不逞の徒潜在し新疆甘肅の回民をして事端を發生せしむべく畫策中なりと

滿蒙曹達騰貴

支那に於ける曹達の需要は各種の工業に使用せらるゝ外支那人の食料に供せらるゝもの甚だ大なるが時局以來杜絶して殆ど專ら内地製品に供給を仰ぎたるも近く内地に於ても窯業の需要を喚起し且つ本年大水の爲め其産額著しく減少して價格は日に奔騰し昨年に比すれば目下百斤二十餘圓を唱へ八九圓の高値なり

人の土地で詐取

慶南統營郡東部面栗浦里崔容珪（三）元直當（三）の兩名は昨年六月中栗浦里所在崔某の水田を種に僞造の印章を以て水田の賣却契約書を僞造し同郡佐須面富之助（三）に對し右の契約書を以て統營面旭町服部源次郎より百五十圓を騙取したること發覺し三名共に統營の□□分遣所の手に檢擧さる

詐欺漢捕はる

平壤府□町……別里……賭博、婦女誘拐、密賣淫の媒介等を常習とする惡漢なるが昨十一月十八日……

朝鮮唯一の交番所

鎭南浦の……新築に係る平壤大和町巡査派出所は目下工事中なるが其ハイカラな事恐らく鮮内一……工費は一千……地上より一尺餘りを煉瓦にて築き……窓の上部迄人造石にて……六角形造りなり十一月二十日迄には竣工の豫定なりと

大連印象記

○大連の一名物は胡藤であるコールターを流した坦滑なる街路の兩側は申すに及ばず各公園の森林、郊外の路上を蔽ふ並木まで何處に行つてもアカシヤの林の目に入らぬ處はなく大連の風致は主としてアカシヤに由つて譽へられて居る

○元來アカシヤと云へば一部感傷派の青詩人の詠歎する以外には大抵は不風流殺風景の樹木とされて居る

○されど大連に與へるアカシヤの感じは聊か不風流でないばかりでなく極めて自然的にしてよく街衢や建物と調和して居る他に樹木が少いからと云ふばかりでなく地質が斯の樹の成育に適しアカシヤの本然の美を發揮させて居るのに考へさせられる

○星ヶ浦や老虎灘にはアカシヤはまだ成育して居らぬ關係から何んとなく其の風景は大連を離れ遠いやうに感せられる、他日大連市からアカシヤの並木の間を穿ちて其の……に出でその鬱然たる紛々の間に……の碧波を觀る事を得るならば星浦、虎灘の風色は更に甚段の美を添ゆるに至るべし

○余は大連に來りて始めてアカシヤの嘆美すべきを知り大連市の風致がそれに由つて保たれ居るを感じ他にも又大連市に入りての第一印象は治安なる道路とアカシヤの並木……なるべく其の森林なるべし（多城生）

白山黒水

▲支那巡錫中の釋宗演老師は愈よ六日上海に著かれたやうであるが▲はなしは少し前に聞するが老師は去る九月奉天に來て蒙古の喇嘛僧と會見して行つた▲併もその斡旋者は誰あらう奉天の釋黙笑師▲日支親善は頭の固い方からが大事やとは同師の氣焔▲撫順にはこのごろ『電車旅行』といふ流行語がある、電車の窓で顔を合す人が殆んど擾つたやうに「ヤア電車旅行ですかね」と笑ひ合ふ▲撫順の電車といへば去ぬる天長節萬達屋坑から搭連坑まで約四哩の延長式をやつた▲それで起點の驛前から勘定すれば八哩三分の長距離になつてゐる▲撫順の繁榮も今の分では追々東漸するだらうとは一般の評判である▲朝鮮の教育視察團々長上田視學官の話しによると支那の中等程度の學校では非常に男生徒と男生徒の仲善しを警戒してゐる▲此の生徒の仲善はたう〳〵秀才を鑛物にして了ふ程の弊害があるので殆んど困り切るといふこと▲それでも前は同郷の身者といふやうなことで一室に收容して見たが今では年長者に順にしたといふこと▲山東支那と伊太利とは世界で有名な……▲視察團の先生は滿洲の人々の元氣と滿洲の土地に感心して了い『われ〳〵の視察に來るのがすでに遲かつたと思ひます』とは御もつとも千萬（天木）

演藝案内

有樂館　東京小林商會京城支店特約　活動寫眞常設館　早川演藝部直營　電話二三〇五番……▲全前の大提出問題の大寫眞現る……

大正館　電話八七三……

黄金館　電話二三六六……十一月十七日より特別大興行（入場料普通）……

壽座　早川演藝部直營　出張撮影……十四日迄五日限り……破天荒の連鎖劇▼……太閤秀吉と石川五右衛門……新派悲劇 白髪夜叉（全三巻）……人情劇 愛の不滅（全五巻）……

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　京城日報社代理部……

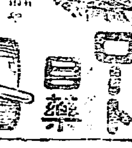
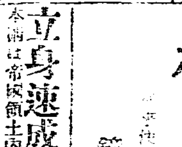
ハカリ印のヘブリン丸が　かぜねつの最良藥として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗顯る的確なるに因る

期　一曾我商店　大阪堂島米穀取引所仲買人……

◎店員入用　數名　年齡十七八歳より二十七八歳迄本人來談の事但保證人を要す　京城本町二丁目　陶榮商店

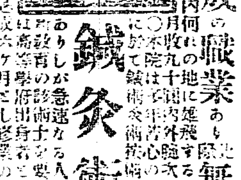
大阪堂島米穀取引所仲買人　……商店……

謝近火御見舞　京城水標橋通り　本門法華宗大本山　本能寺出張所



目ニ見ヘテズンヾトキク　シユマズイタマヌ　井上博士　ロート目藥　不潔い布や指頭で擦るのは目の病を……目藥には消毒した布と下瞼の樣な新案の點眼器を添えてある　定價……各藥店にあり　本舗……東京……大阪……山田安民藥房

元金損なし年二割利廻り　大益金利　月々配當す……東京三河島町……建物興産合資會社

呼出電話更正廣告　八八〇番……營業專用　八……番……店主室　鐵路　井上藥品部


立身速成の職業あり　無代進呈　鍼灸術講義録……

醫化學研究所……

藥種賣藥卸商　北島藥店　七川本町　北島藥店支店……電話……七六一番

外科　内科　小兒科　皮膚科　花柳病　島崎病院　京城旭町一丁目……院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一

滿七歳以下の小兒解熱藥　オイシ　理想的のかぜねつさまし　本舗　大阪　丹平商會藥房　御子達ある家庭の必備藥

株式會社　第一銀行支店　資本金　二二、七〇〇、〇〇〇圓　積立金　一一、二〇〇、〇〇〇圓　諸預金　一八八、〇〇〇、〇〇〇圓　支配人　西村道彦　京城府本町二丁目（振替貯金京城一二番）

左甚五郎

第八十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

家主清左衛門は茶を一抔喫んで從源吉に 清『其のお頼みといふのは恁うい譯だ』源『へエ』清『其の太田が昨夜京都の觀世太夫の處へ行つて喧嘩をして來たのだ』源『エッ何でございますか能役者の觀世の處へお出なすつて……』清『然うさ大層御懇意の間だと云ふこだ、遣が先方も老人此方も老人故ひに往來をしては種々な話しをしは居なすつたのだ、それは宜かつたが昨夜二人が大喧嘩をしたさ

いふのは恁ういふ譯だ』源『へエ』清『種々話しの末に觀世太夫が云ふには、何うか俺も早く舞納めをして倅に跡を譲りたいと思ふが、それに就ては思ひこんだものを勤めないと洵に心地が悪い、もう十年ばかり前から葵の上の嫉妬の舞を勤めたいといふ考へで京都西陣の織物屋へ註文をして葵の上の能装束は悉皆出來て居る衣裳は出來たが肝腎なのは面だそれも觀世の家だから葵の上の面も二枚や三枚はあるけれどそれが氣に叶らない乃で名代の面師源五郎とか云ふ者に其面を註文した、スルと其野郎が三年もかゝつて出來ない、段々延てやうく出來上つたのを持つて來たさうだが、それを見ると少しも凄くもなんともない、妙な物を拵へてしまやアがつた、觀世太夫が大

[illegible]怒つて其奴の出入を止めてしまつた、其の上拵へて來た面は與二ッに割てしまつたといふことだ、其の話しをして何うか面があるまへすれば觀世太夫の舞納め、衣裳に出來て居る故直に御本丸の御能舞臺で葵の上の舞をしたいと思つて居たのだが、肝腎の面が無いのは洵に殘念だと話しをすると、ソレ東宗寺の前の一件から太田の旦那はお前に大層惚込んで居る處たから、それなら[illegible]宜い[illegible]所の

地面内に源吉といふ彫物師があつて過般開龍を彫つて大層評判が宜い、其の人を頼んで上げやうと云ふと、觀世太夫が笑つてそれは彫物師と云つて開龍の頭や雛の像を彫るのだ、それが何うして能の面などが彫れるものでは無い、同じ彫物師でもそれは又譯が違ふ、第一四谷邊には碌な者は居やアしないと云つたので、太田の旦那も默つては居ない、馬鹿にするな四谷だつて幾人も立派な者が住んで居る、と云ふと觀世が、決して左樣な者は居ない、四谷新宿馬糞の中に菖蒲咲くとはしほらしいと云ふ俗謡さへあるじやアないかと云

つて猶笑つた、スルと太田の旦那は愈々腹を立つて、そんな俗謡なぞが何んの役に立つものかと、それより老人同士大變に爭論をして歸つて來た、今朝俺の處へ迎ひが來たから行つて見ると其の話しだ』源『へヘヘエ……』清『處で觀世の方へ内々でその源吉に葵の上の面を一つ打つて貰ひたい、それが出來上つたら持つて行つてさア何うだ此の面で役に立つかと觀世太夫の前に出して見せろ、其時に觀世太夫

[illegible]其の面を見て[illegible]ならば[illegible]出來て、[illegible]觀世が[illegible]上の[illegible]は、何うだ[illegible]の地面内に居る源吉といふ者が居つたのだ、四谷[illegible]庭にして[illegible]の旦那がにも既に名が居る、餘り人を馬鹿にして[illegible]商賣を云はふと[illegible]ふのだが、何うだ[illegible]の方へ内々で是非一ッ[illegible]に葵の上の面を彫つて貰ひたいが源吉に[illegible]出來るだらうか』と清左衛門一伍一什の話しを聞いて居た源吉は何とも云はず頭を傾けて居りましたが稍あつて源『何うか旦那さん、御勘弁下さいまし』清『御勘弁に入れる物があります』から』清『へエ何んだね、改まつて見せる物とは』源『ハイ、是でございます』と立上つて佛壇を開けて中より取出した物は何んでございませうか

あかちやんが生れたで おしにようなた 木村屋のパンでも持たせたい (京城本町 電話八七〇)

銃修繕 玉井銃工場

京呉服 京都永樂町一丁目 たまや出張店 電話二一八六

十一月十八日(日曜日) 暦 舊十月四日 甲子 本命 一白 北 除 先勝

[illegible]

軍隊毛布

曾て市場に現れたる事無き奇良品 先般本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の約束を今度の暴風雨の爲倉庫の都合上更に五千組を短期日に賣放だし幅大判二枚續一組(無疵)原綵値段なる二圓九十五錢で御注文に應ずれば此際至急郵便(ハガキ)で申込あれ受付順に引換で發送す普通の店では五圓以下では買ぬ實用品である

東京神田 東京織物仲繼店 神田振替東京七三四六番

進呈 元金無損年三割利殖と資金利殖秘傳獨稼雜誌 書申込次第送本 東京三河島北新町 利殖研究社

流經新藥レスノリン 月經

閉止四五ヶ月以内に於ける流經に本品の作用は確實にして[illegible] 容易く應用の目的を一瓶一圓[illegible] 藥は優越[illegible] 海外卅錢切手振替 大阪市北區竹林寺町 上一丁目三六番地 發行所 常盤藥院

醫學博士醫學士岡田先生證明 醫學士常持先生發見 脳病良藥 レーベン

東京銀座尾張町二丁目 弘濟藥院 價 三十五錢 五十錢 一圓

周 今石堂 明治町三丁目

たんせき最近の良劑

セキドミンは[illegible]の良劑で其製法は[illegible]效能は極めて[illegible]

たんせき 咳嗽良劑 セキドミン 醫學士宮田先生 ドクトル敷津先生 共同調製 感冒良劑

○咳嗽にて烈しく息迫し○たん又はぜんそく[illegible]

發賣 東京・大阪市 弘濟藥院

顔色と運動

(ミツワ文庫六、一二)

運動にて内より顔色を調ふ
化粧に依て外より美しくす

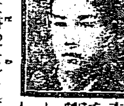
市川左團治談

不精と云ふことはやり始めますときりのないものでございまして、着物が汚れて居ても構はず身の周圍に塵が溜つて居ても構はず身體を動かすことが至つて億劫になつて參りまして自然外に運動がつきませんから顔色も自然悪くなつて行きます、いくら化粧をなさりましても地の色艶が悪いから化粧栄えがしないと云ふことになります、日本の家庭でございますと中流までの御婦人方は大概臺所の種々な用に追はれますから拭掃除とか臺所の指圖萬端やらで運動は充分つきますことでございませうが中流から上の家庭になりますと斯樣な用事は他の人がやつてくれますから[illegible]運動の機會が少なくなりまして自然顔色も優れなくなりますから[illegible]お顔色が内から華やいで參りましたら外からお化粧をなされば内外相待つて美しいお化粧が出來ます譯でございます、お化粧の基礎は第一にお

化粧の土臺になります地肌を整へますことでございます、それには皮膚の營養を助けますミツワ石鹸を使つて入浴をしますことが何よりでございます、ミツワ石鹸は齋藤理工各科學の專門家が研究を重ねました末日本人の皮膚に適ふ樣に精製しました理想の石鹸でございましてその道の專門家に伺ひますと遊離の脂肪も遊離のアルカリもない化學上の純石鹸であります

上に原料にいゝ脂肪を使ひ日本人の皮膚に適ふ樣に精製された理想の石鹸でございまして水にも湯にも實によく溶けまして雪の樣に眞白な細かな柔かい泡沫が立ちますから之を浴槽で濡れて暖かくなつた皮膚に塗りまして静かに揉みますと汚垢は此の石鹸の作用で吸はれる樣になつて此の泡沫に混りま

△市川松蔦曰く 御婦人方のお[illegible]



[illegible]

すからお湯で流しますと汚垢を含んだ泡沫はすらりと氣持よく流れ出します、一體汚垢は皮膚を蔽うて汚なくして居るだけではなく皮脂腺などを塞ぎまして機能を鈍らせますものですが此のミツワ石鹸を使つて入浴をしますと皮膚を刺戟する樣なことはなく此の機能を助けます、汚垢を除りますから皮膚が清潔になりますし上に機能が健やかになつて行きますから皮膚は生々といゝ色澤になつて行きまして白粉ののびも自然とよくなります、さて白粉をつけることになりますが此の清潔になりました皮膚へ白粉下としてミツワ健膚藥を塗りまして皮膚へ擦り込む樣にし暫くして絞つた手拭で抑へる樣にして餘分を取りまして其後へ白粉を塗りますと白粉はよくなづみまして美しい化粧振が出來上り化粧崩れもせずに長く保ちます。

浴後ヒゲソリ後の家庭化粧料

紳士の賞用

ホーカー液

□效果□
○色を白く、キメを細かにし
○アレを防ぎ、色艶を好くし
○白粉下、トキ水によく
○子供衆の皮膚を丈夫にし
○生れつき色が白い樣に見せ
○紳士の髯そり後に適す

定價 大瓶八十錢 中瓶四十錢 小瓶二十錢 送料 内地無料

全國到る處の小間物化粧品店、藥店に販賣す 若し品切れの節は本舖宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ

本舖 東京神田今川橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六番 電話神田特長一四二、一四四、一四五

パール

パール椿油

○パール椿油 植物製…… 礦物を加合せず化粧化學を應用し香氣馥郁として絶對發毛に適したる純植物製

本品は聲價[illegible]御同情に依ると同時に平尾パールが如何に品質の改善に腐心忠實なるかを證明するに足る

日本内地は勿論海外各地に巨多の愛用者を有し昨今殊に海外の輸出多大に激増し各所より山なす注文……

パール煉香油 パールポマード

發賣元 平尾パール 東京 代理店 平尾レート 大阪

梅毒有無診斷液 ルエチン

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潜伏して身體の衰弱せる時に脳神經、內臓眼球、骨等總ての臓器に種々の病症となりて現るるものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潜伏、遺傳、其他內臓に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潜伏の何れを問はず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就てルエチンの注射を試みられよ其有無直に判明して疑問は速に解決すべし……本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり……

說明書あり申込第次送呈す

發賣元 東京京橋區南傳馬町三 星製藥株式會社 關西代理店 大阪東區道修町三 小西喜兵衛

いよく安くなりました

黒羽二重紋附地 壹號 拾五圓八拾錢 貳號 拾八圓七拾錢 參號 貳拾壹圓五拾錢

羽二重大巾羽折額裏 イ 參圓八拾錢 ロ 四圓五拾錢 ハ 六圓五拾錢 九圓[illegible]

千台平袴地 別上 拾四圓五拾錢 壹號 拾七圓參拾錢 貳號 拾九圓五拾錢

久米名仙縞 (男女物廿歳位迄 四五十歳迄) 六圓五拾錢

流行久米紬 (同上) 四圓五拾錢

金巾裏地 (花色 活色共) 特價壹圓六拾五錢

實用綿結城縞 (大名柄 種々) 壹圓八拾五錢

厚板丸帶 (十七八歳より廿四五歳迄) 三十本限り特價二十二圓 (送料各十八錢マデ)

地方御得意樣の御便利を第一の目的として販賣品增加發表の折柄絹織物綿巾類の相場は一層下落し或は今が底入値段かと被存御購めの最好機と存じ候引續き新柄紙上に廣告可仕御覧の上精々御用命の程奉希上候

追而男女の別年齢、職業等御示し御申越被下候へば早速見本帖送付可申上候

京城太平通 振替京城三〇八番 京城日報社代理部 電話(本社構內十八番)

銚子港 田中玄蕃醸造

ヒゲタ醤油

代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗 發賣元 山邑京城支店 電話八四九 振替貯金京城七五四

汽車發着時刻 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同(北行) 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

京城日報

十七日朝刊（夕刊併せて八頁）

第五版

十六日後場（時雨）

仁川期米

▲十六日後場　大阪前場の安止めを受けて先十九圓七十三錢と四小安に寄付たるも後場市限二節二十圓十五錢四節十五錢八錢半均値段十六錢先限一節十九圓七十三錢四錢五錢六錢七錢八錢七錢八錢七錢二節

十六日の大阪 後場
寄付 十九圓七十三錢
高値 十九圓七十六錢
安値 十九圓七十八錢
止め 十九圓七十三錢

支那漫遊

名士歷訪

蘇峯生

十月十八日午後は、交通部總長曹汝霖、內務部總長錢能訓、及び元老徐世昌氏を歷訪せり。曹氏は段內閣の花形役者にして、即今日の出の勢あり。其の官職は我が遞信大臣にして、鐵道院總裁を兼ねたるものなるも、對外、特に對日本の交涉事には、恒に其衝に當りつゝあり。或は後藤、仲小路を搗ぎ交せて、之を等分したるが如しと云へり。其の當否如何を知らず。予等の訪問したるは、其の自邸にして、室內には伏見宮殿下を始め、大隈侯其他の寫眞を飾りあり。彼は快活なる四十年輩の男にして、善く日本語を操れり。彼は早稻田在學の頃は、我が『國民叢書』の、愛讀者たりしと云へり。過日錢能氏に、東京にて面會の節も『同樣の言を做せり。乃ち予たる『國民叢書』が、支那の知識諸君に、貢献したる所あるは、著者の頗る意外とする所也。錢能訓氏は、進步黨の代表者として、梁啓超氏と與に、現內閣に入りて、氏は黨人としては、重きを做せり。されど內相としては、地方の政務、殆んど各省督軍の、擅にする所となりて、手を拱して、唯だ其の成行を見るの狀態にあるが如し。氏自から嘆息して、文治の武斷の桎梏を脫する迄は、內務は當然也。

門內の門前には、纖許の兵士立哨せり。庭內には、未だ開花せざる菊の鉢を、一面に並べ列ねたり。室內には、頗る簡素なる……

行政の要ることに……と語れり。予は……を贈りしに、氏は……く、既に此書を讀了せり。否な一時『經一家言』も繙讀せり。而して『指南』『彌耳數』も、目下註文し置けりと。氏は日本語に熟はざるも、讀むには差支なしと云ふ。予等は內務部に於て、會見したるが、其の會見中にも、愛許の名刺は、持ち運ばれたり。而して待合所には、人の出入頻繁たり。恐らく獵官者の類ならむ。

徐世昌氏は、袁世凱と兄弟分にして、今は頗る……の觀分なし。其の田邸は、新林にして、門の閣開元帥中山王徐達の舊邸也。乃ち地を我國の所謂る元老とも云ふ可き位地を、現在に於て占めつゝある……

姉川の役を想ふ（二）

東江州にて　青霞生

▲北軍

長政は信長の將に攻めんとするを聞くや使を越前に遣し援助を求む。既にして信長の兵領內に入り近く小谷城下を燒く。長政出て戰はんとす。諸老臣皆義景の來援を待つに如かずと為す。又信長の退くや之を尾撃せんとす。久政及び老臣之を止む。横山城は木野木秀俊、三田村國定等之を守備す。信長の全力を以て之を包圍するや長政大寄山に陣し遙に之を聲援す。時に六月二十五日。是より先、朝倉義景は長政の請に應じ其部將朝倉景健をして兵一萬餘人を率ゐて赴援せしむ。此の兵二十六日大寄山に着す。時に横山城急を告げ援助を乞ふの使頂背相望む。二十七日長政乃ち景健等と議して曰く、横山城朝夕を謀らず。徒らに義景の來るを待て遂に城を失はゞ恥より大なるはなし速かに戰ふに如かず。然れども敵陣此地を距る五十町餘。直に陣を野村に移し、今夜暁急に之を擊つべしと。議乃ち決し直に軍を合し夜半發を傳へ、淺井は野村に、朝倉は三田村に向ふ。其部署左の如し

本軍 淺井勢 八千
第一隊 磯野員昌 千五百
第二隊 淺井政澄 千
第三隊 阿閉貞秀 千
第四隊 新庄直頼 千
本隊 淺井長政 三千五百

支軍 朝倉勢 約一萬
第一隊 朝倉景紀 三千
第二隊 前波新八郎 三千
本隊 朝倉景健 四千

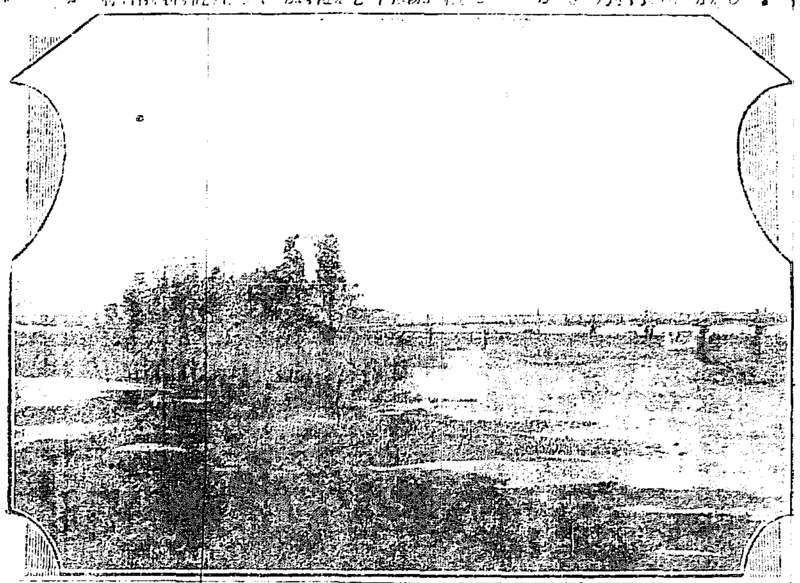
（ロ）戰鬪經過概要

六月二十八日（陽曆八月九日）未明北軍各姉川附近に達し淺井軍は野村を朝倉軍は三田村に入る此の時南軍は既に姉川左岸に在り直に銃を以て戰を挑む

第一時期……

第二時期……

第三時期……



姉川の古戰場（大演習敵戰地）

三、戰役の動靜及結果

信長大に姉川に捷つや信長直に横山城を圍みて之を降し、羽柴秀吉を置き七月一日自ら佐和山城を攻めしが守將磯野員昌の防禦甚だ固きを見て急攻を止め砦を百々に築き丹羽長秀を置き彥根山に河尻鎭吉、里根山に水野信元、尾末山に市橋長利を置き四日一度入京し八日岐阜に還る。八月下旬京畿地方に三好の殘黨起り信長之を征討しつゝあるの虛に乘じ長政は義景と謀り兵合計二萬八千を率ゐ發し宇佐山城を攻陷し大津、醍醐、山科を燒く然るに信長の來り戰ふに及び比叡山に牙營を置き敢て戰はず十二月十三日遂に和議成り兵を回す此に於て淺井の將士長政の恃むべからざるを知り信長に投降するもの甚だ多し遂に天正元年八月總崩以後信長の攻擊する所となり二十日朝倉義景先づ滅び二十七日長政亦自殺し淺井氏滅ぶ（完）

誰（126）

布施生

『何の事だい。』昨晩でございます。そうか、老人いふ。……

ました。『輕田と云ふ名は鈴富が檢事から聞いた名前である。其人は何でも美那子に關係があるらしかつた。一體どんな人だらうと鈴富は自分の記憶の底を探つてみたが心當りはない。老人は何となく心苦らしく度を失つて思はず昨日に珍らしく赤面しながら、『成程、そういふ方を探してあげる約束やつたばつて。』

美那子が暇を告げたのはもう夜になつて居た。老人は俄にけつそり腹を立てた。……料理に舌鼓も打たず晩酌には心配いた老人何か考事をして折角の色を疲らせて箸の運びも捗らなかつたが其內俄に立上つて『よし、是非に角檢事に話して貰ふ。』何かうまく都合がつくかも知れん、之を訴ふのも昌樣の爲だ。老人は三度怖い眼を鈴富に注いで『君が無雜作な手紙のお蔭ですぞ。』

その手紙は保部老人には大打撃であつた。老人は其手紙を朝の九時頃事務室で受取つた。もう十通內外の手紙を見て仕舞つた處で鈴富が知らせるのか最後の其手紙を手に取つた時は何と無く仔細ありげな思がした。富豪の常として不見不識の人から無心狀を受取るのは珍らしくは無い。しかし此手紙ばかりは封も裁らないうちから何だか氣味が惡かつた。

もう此檢事は若へないぞ。……眼の前にちらついて外の考を追出してしまつた。

京日詩壇

月夜閑酌　高井榛堂
夜來呼酒酌綠醅、涼飈如水爽吟懷、遙觴……月在天心薰自高。

聽人彈琵琶　渡邊凌雪
良宵會友酌芳醪、月在天心照客袍、何處琵琶逝上聲、小絃切切大絃嘈。

初秋夜坐　中西古竹
評曰不多道破處、却有妙趣。
夜深風冷露華清、獨對孤燈對月明、公館家鄉千里客、一行過雁斷腸情。
評曰運筆自在、景情兼至。

雜誌抄

十二月の運勢（婦人倶樂部）

▲一白　中運であるが活動次第で幸運が向て來る
▲二黑　八方塞りなれど御都の心配はない
▲三碧　上々の月で何事も意の如くなる
▲四綠　中運であるが活動すれば効がある
▲五黃　上運で何事にも幸福が來る
▲六白　上運の月で萬事意の如く叶ふ
▲七赤　中運なれど油斷のならぬ月である
▲八白　上運で何事も見て幸ある
▲九紫　上運で何事も見て幸ある

京城高等普通學校教諭阪上獅吉先生著・價八十錢特七十五錢稅六錢

朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義

本書は各種官廳の採用試驗に應せんとする人の爲めに、各法律を試驗問題の範圍を標準とし、簡明に敍述し、直に採つて以て答案をなし得べきやう講義したる好著なることは、本書に就て知らるべし。……

實捌所　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

雜誌界の權威

漢文世界

淫蕩文學を撲滅し專ら東洋固有の道德に立脚して我が國民の健實なる思想を涵養し熱烈なる正氣之に鼓舞するに在り。而して又た本誌は……

好評滿千四種　第一號第四版　第二號第三版　第三號第三版　第四號は十日　新年號大增頁

▽中學漢文教科用書字解
▽本邦近世名家青年文粹選評
▽時局關係支那時文講義……早稻田大學教授青柳篤恒擔當
▽和漢人日論文講解
▽日本女鑑（やまとみかゞみ）
▽女四書講義（新年號より掲載）……松操女史擔當
▽文章は如何にして上手になる乎……半羅漢子擔當

發行所　漢文世界社

就職最も速なる實業界に入る前に先づ本會に來れ

總裁　大隈侯爵
副總裁　澁澤男爵

實業講習錄

▲實業界にして最も必要なる實業の新知識と他人と競爭して決して負けない實力を僅か一ヶ年にて自宅に居ながら學ぶ同樣に教ゆ
大附錄 一 書翰文習字 ▲世間で毎日使ふ手紙を教ゆ ▲手本にて手紙の習字を教ゆ ▲習ひつゝも實際の役に立つ
▲只今の入會者には五大特典を提供す速に見本を見よ

決斷鈍き者は成功せず、速に見本を求められよ　開運の鍵は無代也

會費
一ヶ月分 五十錢
二ヶ月分 一圓
三ヶ月分 一圓四十五錢
六ヶ月分 二圓八十錢
一ヶ年分 五圓五十錢

▼見本　御申込次第無代進呈す　內容と入會手續を示す

學科
商業簿記・商業數學・實業讀本
銀行簿記・珠算暗算・商品學
商事要項・商業實務・實業習字
商業英語・商業地理・實業歷史
商業作文・經濟講話・處世法

東京京橋區日本橋通三丁目
帝國實業講習會　振替口座東京四〇一六

拜啓各位御清榮奉賀候 扨て御契約申居候勸業債券月賦濟崩事務は從來朝鮮債券部並に勸業貯蓄會社朝鮮支部に於て取扱ひ居候處 斯くては債券番號通知並に滿期債券御渡し等時々遲延し不都合相供ふる事間々有之候に付自今監督銀行たる當行內に於て御契約當時の名稱の儘取扱ふ事と相成候間 總て本件に關する御要望は當行宛御照會被下度從て月賦御拂込金の如きも當行より集金郵便にて取扱ひ可申候間御心置きなく御拂込被下度 不取敢御挨拶申上候 草々

愛知縣中島郡一宮町
株式會社 商業銀行
東京市麴町區三番町
勸業貯蓄合資會社

主婦之友十二月號

家庭經濟號

西洋の家政振
燃料の經濟的研究
家持の下手な主婦へ
資産を作る生活方法
物價はなぜ騰貴したか
家事を上手に執る法
盜難に罹り易い家
妻の働で收入を殖した實驗談
資本いらずで五年間に八百圓
內職から得た金と心の喜び
三人の子供片手に編物內職
僅な金でよい服裝の仕方
主婦の講の經濟と便利
赤坊を丈夫にする秘訣
經濟で上品な絞染法
美味な味噌汁の拵方
年末の贈答品研究
田舍見物 東京見物記
寫眞鑑定 婦人の運命
新作講談 古今名婦鑑
西洋小說 名作繪物語
改良餅の搗方

今日出來　特價廿五錢（送料一錢）半年一圓五錢
東京神田表神保町三　振替口座三三七八六
東京家政研究會

●辭職せる段總理

◎佛國首相暗に日本出兵を仄めかす

―注目すべき議會演説―

巴里來電=佛國首相パンルーヴエ氏は十三日上下兩院にて現下の時局に就き演説して曰く『伊太利の北戰線が如何にして決潰せしかは未だ明瞭ならず英國軍隊は今やアルプス山の彼方に及びつゝあり米國が最高軍事會議に參加するは疑ひを容れず他の戰線に關する事柄は日露兩國と共に處理す可く渉せらる可く該最高軍事會議の目的は最も有力なる結果を確保する爲めに利用し得る各國の資源と作戰を調和せしめ聯合國の一般戰略を編成するに在り常設參謀部は中央通信機關及び技術上の忠告者として活動す可し最高軍事會議の決議は全戰線を包括するものにして各國政府の是認を經可し』と(倫敦電報)

◎段總理辭職

北京特電に曰く北軍總司令官國務總理段祺瑞氏は辭職せり(十六日午後東京發至急特電=號外再錄)

◎段總理辭職原因

北軍總司令官段總理は辭職せり是より先き馮國璋氏より政治家が軍人を驅りて極端の爭を爲すは不可なりとて平和解決を要求し來れり之段總理辭職の原因なり前任湖南督軍傅良佐氏は長江碇泊の汽船に逃れたり(北京特電)

◎各總長の進退協議

梁啓超氏辭意堅し

財政總長梁啓超氏も亦辭職の決心頗る堅く各總長は只今(十六日午前)會合進退を議しつゝあり(北京特電)

◎平和の曙光見ゆ

各省督軍調停=形勢急轉せん

江蘇、江西、湖北の各省督軍は北京總統府に宛電を發し時局の調停を提議したり其の內容は雲南軍を四川省境より又た廣西軍を湖南省境より退却せしめ之を休戰の條件となすに在り北京政府も元來好みて武力の解決をなさんとするに非ず且つ馮總統は固より段總理も同意見なれば形勢或は平和解決に向ひて急轉を見るやも知れずと(十五日發北京電報)

◎西比利亞獨立

別報

コペンハーゲン來電=露國瑞典國境たるトルニオアに在る露國士官の報ずる所に據れば西比利亞は獨立を[illegible]

◎朝鮮事業債好況

約三千二百萬圓の應募超過

朝鮮事業公債は十五日募集を締切りたるが應募總額七千六百九十萬圓にして內現金四千七百九十萬圓乘替二千九百萬圓なり而して右發行價格四千五百萬圓に對し三千百九十萬圓の應募超過となりたるが當局は成可く少額申込を募入すべき方針にて取扱ふべしと(東京特電)

◎日銀見返品制度改訂

十六日より實行=金融界の大改革=改訂効果如何

日本銀行は經濟界の發展に應じて金融の調理を助けんが爲め見返品制度を改訂する事となり十六日より實行したり今回の改訂は出來得る丈け取引方針を營業的ならしむる主旨にて從來行はれ來れる如き品目列擧主義を廢し優良なる有價證券と認め得べきものより見返品を選擇する事となれる結果品目は從前に比し增加することゝなれるも其の品目を公表する能はず見返の標準の如きは兌換券發行の責任ある日本銀行の立場として世間の標準と自から差あるを免れざるべしと

◎市場救濟の効果あらん

銀行家の談に曰く日本銀行が見返制度を改訂し五六十種の有價證券を見返品に加へたるは金融界に於ける一大改革なるが是れと共に日本銀行の資金が實業界に流入する事となり產業の發展に資すること大なるべし殊に目下の如く株式の低落を見し地方銀行が擔保として受取れる株券の取扱ひに苦しめる際には市中銀行は之等の株券を日本銀行に再擔保となし得るを以て市場救濟の効果あらん されど日本銀行が從來の商業銀行の親銀行たる態度を捨て資金銀行たる色彩を帶び來りたるは一大變改なるを以て放漫なる營業方針に陷らざる樣留意する事肝要ならん(東京特電)

◎勸業債券

七百萬圓賣出し

日本勸業銀行は十二月一日より十五日までの期間にて第六十七回勸業銀行債券一等割增金二千圓附十圓券七百萬圓を賣出す事に決定せり最初の抽籤は來年二月也(東京特電)

◎宗演師歸著

支那視察中なりし釋宗演師は十六日朝筑後丸にて下關に上陸十七日京都へ向ふ筈(門司特電)

◎鶴田軍醫總監

鶴田陸軍省醫務局長は十六日宮島丸にて渡[illegible]

◎露國電信不通

トムスク以西[illegible]

◎黑省軍界動搖

奉天督軍の黑省問題に對する武[illegible]たりし宋小濂氏を派遣し英巴等の叛將を慰撫せんとせるも張督軍は此の問題に於ても其主動者は年少氣鋭の英雄にして頻りに前進せる[illegible]

◎清會線開通祝賀

盛大に擧行されん

清會線開通は清津港民の十年來の宿望を達せるものなるを以て五日間に亙りて盛大に其祝賀會を擧行すべし(清津特電)

◎城覆審法院長

城覆審法院長城數馬氏は十六日朝釜山發列車にて歸任せり(釜山特電)

◎野口軍醫部長

野口朝鮮軍軍醫部長は十五日午前九時四十分元山發列車にて京城へ向へり(元山特電)

◎日露貿易近況

本年九月中本邦對露貿易狀況を聞くに輸出額合計七百二十七萬二千四百四圓を算し內綿製品の百四十八萬九千六百七十圓を主位とし銅(塊及び錠)の七十五萬九千百七十三圓、靴の四十九萬四千百餘圓、羅紗及びセルヂスの三十六萬八千餘圓之に亞ぎ其の他綿フランネルの十一萬九千二百餘圓、燐寸の十二萬餘圓生絲の十萬六千餘圓等あり而して前記銅以外の諸金屬及び之が製品の輸出は本邦對露貿易中其の價格に於て重要なる地位を占めつゝあるもの如し次に輸入に在りては全計六十三萬四千百二十三圓にして內魚類の四十一萬三千九百餘圓を主位とし豆類の二萬三千七百圓、サントニンの一萬三千餘圓、其他雜品の十萬五千九百餘圓等あり之を前月に對比すれば輸出全計に於て三十四萬餘[illegible]

◎中支の農作

湖北省地方の棉花作は實入不良にして平均六分作見當なるが陝西地方の東北部は旱魃の爲め凶作なるも例外とし他は槪ね七分作なり湖南省地方に於て八分作を示し湖北豆は湖南省地方八分作湖北省地方は七分作位なる[illegible](十三日來電)

◎客月京城金融

[illegible]

◎出兵交渉は恐らく事實か

聯合國日本の協力を必要とす

佛國首相パンルーヴエ氏が佛國兩院に於て『伊太利戰線には英米の兵之に向ふ可く他の戰線に關しては露西亞及び日本と交渉す可し』と宣言せる事は別電の如し最近駐佛松井大使より重要なる電報來り本野外相彥根に急行せるは此の間の消息を語るものに非ざるなきか最近巴里に開かる可き聯合國軍事會議にて之等の諸問題の議せらるゝは勿論の事なる可く聯合國が伊太利戰線以外の事を日露兩國に交渉する目的は歐洲の實戰に日本の協力を希望するに有る事は疑ふの餘地なき處なり而して日露兩國に協すとの見地より見れば露西亞方面の責任を露西亞と日本に嫁せんとするものゝ如く露國の現狀に見て其の聯合國と共同作戰を爲すの可能性を疑はるゝ悲しむ可き狀態にある以上佛國首相の言明せる聯合國の希望に付ては日本が應諾すると否とは露西亞方面の全責任は日本の双肩に懸り來るものにして露國革命以來歐洲戰局の推移が聯合國をして日本の努力を要求せしむるに到る可きは一部論者の豫言し居りたる處なるが此の大問題に對する日本の出所進退は國家百年の運命に關するものにして國民の愼重研究す可き處なる可し=某外交通談=(東京特電)

◎畜產組合新設

朝鮮重要物產同業組合令に據り今回生の產資及び賣買の仲介を業務とする畜產同業組合の新設を認可せられたるもの左の如し

△名稱信川郡畜產同業組合△地區黃海道信川郡一圓

◎吉原氏追悼會順序

前東拓總裁故吉原三郎氏の一週年忌追悼會は既報の如く十七日午後一時より南山町東本願寺に於て執行の事となりしが其の順序は舊信者の祭事、遺族及親戚代表、總督府代表、東拓總裁代理、京城有志の吊辭其他有志の吊詞及び一同燒香あるべし

◎坡州農產品評會

京畿道管內坡州郡に於ける農畜產品評會は既記の如く郡廳に於て十五日より三日間の豫定を以て開催せるが十七日褒賞授與式を行ふ筈

◎古海總長歸任期

古海警務總長は十六日午前大阪特別大演習陪觀の爲め滯在中なるが愈歸途に就く旨其筋に通報あり十九日夜南大門驛着列車にて歸任すべし

◎廣瀨主計監出張

軍司令部經理部長廣瀨主計監は十七日より師團經理檢査の爲め十七日より州地方に出張す可しと

◎入江書記官歡迎會

總督府會計課員一同は日下入京中の拓殖局書記官入江海平氏を十六日午後六時千代本に招待し歡迎宴を催したり△總督府の一般有志は十八日午後六時同氏を花月に招待し歡迎の晩餐會を開く由△朝鮮銀行及東拓に於ても同じく同氏の歡迎宴を開くべく目下計畫中なるが日時及場所等は未定なりと

◎久保理事歸任

久保滿鐵理事は十六日夜南大門著列車にて歸任したり

■重要電報 欄外にあり

◎百面百種

[illegible]

[illegible]

破產宣告公告
李珏均
右之者ニ對シ破產ヲ宣告シタリ詳細ハ本年十一月三日朝鮮總督府官報ニアリ
京城地方法院

古亞鉛板拂下
一、古亞鉛板八百枚
一、端モノ 貳千五百枚
右入札拂下ヲ爲ス希望者ハ官報ヲ見ルベシ
大正六年十一月
朝鮮總督府度支部專賣課
廣梁灣出張所

競技大會
十一月廿日迄
會費金卅錢
賞品一等ゟ十等迄外副賞あり
會場 京城
巴州亭幹事一同

京日案內
[illegible]

募集 有販賣城工數名至急入用
黃金町三丁目二九一
大盛堂印刷所 53

中清兄
事件解決居所至急知せよ
イワサキ 54

恩給年金立替 五年迄利一割 千圓以上別契約
即時取引 退隱料
京城櫻井町二丁目元組ノ一九八番
博多屋 本店 47

鐵砲火藥獵具
京城明治町
電話三〇二
瀧川銃砲店 支店 太田 公州

恩給年金立替 五年迄利一割
三年分迄無保險
京城若草町 金光教會裏手
電話二三九一番
國江商會 791

獵用火藥霰彈 獵具
龍山榮町(電話一五三番)
毛利商店 (11)

恩給年金 長期低利 現金 即時
替三年分迄無保險
京城南大門外(御成町)
電話二六八八番
山口屋 13

雜木原木板類 各種 卓子机 ウクロー 附各地圖面送附 見積
京城黃金町
本明雜木店 29

冬の防寒用としては
眞綿製
チヨツキ……一圓八十錢
ズボン下……三圓五十錢
胴着(和服用婦人用)……一圓八十錢
同(小供用)……九十五錢
腰番……一圓五十錢
腹番……八十錢
京城本町
塚谷出張店
電話一三六番
本店・東京神田南神保町

總良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
……御値がお安いです
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番

手拭は泉谷
內外大博覽會金銀賞牌受領
印入手拭
タオル
大阪市東區瓦町三丁目
明宮御買上之榮
法被 風呂敷
泉谷商店
振替大阪二武一八番
電本局三千四番

滿鮮に於けるキネマ界空前の記録
十一月五日以來連日連夜引續き滿員
有樂館
◎終編 潜航艇の秘密
愈々來る十九日限り日延なし

本年四月以來滿洲漫遊後引續き京上中之處患者各位の懇望に依り再ひ京城に於て痔疾一般之診療に從事可致目下開院準備中に有之此段豫告仕候也
京城旭町二丁目
久枝肛門病專門醫院長
藥劑師、看護婦、見習看護婦至急募集希望者來談ありたし

◎十二月六日第六十六回新債券發賣出し
只の十圓の金で一萬二千圓五百圓の勸業債券を買へて割增金を樂む法
代金後拂 日出勸業銀行 取扱 勸業債券販賣所

●レーニン派軍艦にて逃亡

…せる兵士等は十三日來ネバ河碇泊の軍艦に搭じて逃亡しつゝあり露都の秩序は回復せられたり（露都電報）

○久留島氏北行 久留島武彥氏は十六日朝釜山着午前十時半發列車にて京城に向へり（釜山）

…に黑省境內に入りたるが中央政府…は例の如く溫和手段を以て此問題の解決を圖らんとし前黑龍省督軍…張督の意見を容れて英順に革職を命じたり唯巴英額は年來…る全責任を負へるより中央も終に…が爲め黑省軍界の動搖甚しく…て或は一事變の發生す可きを杞憂せられあるも張督の眼中には元より…

●…種に 二人組の詐欺

橫濱市眞野町二丁目生れ京城本町…なりと稱し現金にて五十圓受け取り百五十圓は約束手形を以て受け取り置き其の後信太郎は本町二丁目…る結果債權の讓り渡しにあらず…掛けたる債權の取立て方を依賴したること發覺したるより兩名は逮…

陸軍特別大演習

彥根にて　中谷特派員

▲最終戰の火蓋切らる

♣秋山北軍司令官の憤起

大演習の大詰たる十六日に於ける兩軍對戰の陣形は高宮町東端より東海道本線に沿ひ遠く朝鮮人街道を經て尼子に配列せる南軍に對し北軍は芹川の全線彥根町の兩端より山脇、東沼波を經て大堀、多甲山麓より鐘音寺に瞰へたり秋山北軍司令官は前日鍾山々麓の平野に於ける敗戰を芹川と近江鐵道沿線平野にて一擧に回復すべき決心を以て十六日拂曉援軍の到着を俟ち其の大部隊を芹川左岸の平野に前め砲聲を合圖に戰鬪を開始したり、高宮町に主力を有する大谷將軍の率ゆる南軍は直ちに之に應戰し最後の決戰を龜甲山麓の大平野に行ふ事とし其の主力は工兵掩護の下に全線に亙りて步兵の進擊を開始したり（十六日午後發電）

▲錦旗曉風に飜へる

天神山にて御統裁

大元帥陛下には十六日黎明、天猶ほ明けざる午前五時三十分大本營出御 聖駕を彥根市街の東南天神山に進めさせられ御親しく演習を御統裁遊ばされたり（十六日午後發電）

▲些も御疲勞の御色なし

松方老侯聖慮に感泣　波多野宮相謹話

大元帥陛下には連日の御統裁にも拘らず御機嫌殊の外麗はしく京都御發輦の日松方內大臣の老體を勞はらせ給ひ『老人は演習見物は見合すがよからん』と仰せあり老侯も聖旨の優渥なるに感泣せり又御統裁の節は上原參謀總長より熱心に戰況を聽召され双眼鏡を離し給はず外套をも召されず還幸後も殖產獎勵の大御心より陳列品を天覽あらせ些の御疲勞をも覺えさせ給はず（十六日午後發電）

▲中村大尉の御前講演を聽召さる

大元帥陛下には十六日朝御野立所に於て豫備陸軍砲兵大尉中村英太郎氏の『觀音寺山合戰』の進講を聽召されたり（十六日午後發電）

▲各將軍へ大鱒御下賜

奧、川村兩元帥、長谷川朝鮮總督、中村安東、一戶、大迫、大谷、井口、秋山、島村の各將軍へ陛下より琵琶湖產の大鱒を御下賜あらせられたり（十六日午後發電）

▲掉尾の空中大活躍

♣兩軍飛行機入亂れて戰ふ

斯くて午前六時南軍の芹川左岸に於ける爭奪戰愈々猛烈を極めんとする時北軍飛行機は何れも東上阪を出發し長濱町より伊吹山を掠めて彥根城の天空を一千米突の高度にて爆音勇ましく飛翔し近江鐵道沿線にて南軍の前進を發見したるを以て之に爆彈を投下したるが敵の劇烈なる一齊射擊を受け六時過ぎ歸途に就かんとするや南軍の三機翼を揃へて襲來するに遭ひ茲に敵味方入亂れて壯烈極まる空中戰を現出したり結局北軍飛行機は南軍飛行機の爲めに擊攘せられたるが其後間もなく南軍の飛行機は千本村の上空にて敵の主力部隊を發見したるを以て六個の爆彈を投下し更らに彥根の兩端を高く近江鐵道に沿ひて敵情偵察をなしたるが洵に是れ掉尾の空中大活躍なりき（十六日午後發電）

▲戰鬪白熱點に達して

♣天地修羅の巷と化す

六時四十分地上の砲聲は益々激烈となり七時一齊に行動を起し千本村平野の兩軍爭奪戰は愈々猛烈の度を加へ來る南軍は茲を先途と死物狂ひとなりて最後の攻擊をなし兩軍の戰鬪白熱點に達す地には銃砲聲に喇叭の聲加はり空には入亂れたる飛行機戰あり天地爲に修羅の巷と化し七時卅分南軍愈々接近し全軍進軍喇叭の響と共に步兵の突喊南軍より起り芹川を挾みて劇烈なる白兵戰に入らんとする刹那休戰の信號あり之れにて湖國平野の大演習は芽出度く大團圓を告げたるが時に午前八時十分なりき（十六日午後發電）

▲優渥なる勅語を賜ふ

御機嫌麗はしく大本營へ還幸

大元帥陛下には御野立所にて御統裁中奧元帥、上原參謀總長に對せられ種々御下問あり絕えず双眼鏡を御手に戰況を看はせられしが演習後千本小學校に臨幸あり上原統監の講評後全軍の將士に優渥なる勅語を賜ひ午後四時御機嫌麗しく彥根に還幸あらせられたるが此の日拜觀者頗る多數なりし（十六日午後發電）

◉萬歲!! 榮ある首途に

鐵道乘車證明書は何うして受けるか

◆◆◆入營季節の氣分が漂よひ初めた◆◆◆

來る十二月一日の入營も近いたので朝鮮に居る壯丁入營者は鄕里や所屬部隊地に向つて榮ある首途に著く者が多い、停車場に行つて見ると『何某君入營を祝す』と筆太に書いた大旗振り翳して意氣軒昂、大小の日章旗を纖に採つて客車の前は

◆黑山の樣な人ばかり 驚嘆々々の狀態は實に軍國の入營期節に相應しい氣分を漂はせて居る之等勇壯なる入營者に對しては鐵道當局では多大の便宜を與へて其の乘車賃の如き普通賃金の半額としてゐる、之に關し京城府廳兵事係の語る所に由れば『現役兵、壯丁又は一年志願兵として入營するものは陸軍々人軍屬鐵道乘車及び軍馬軍需品輸送手續に由り鐵道乘車證明書の交付を受くる時は普通

◆賃金の半額 を以つて乘車する事が出來るが此の乘車證明書は本籍地の市町村長に申請して發給を受くべきもので之を現役兵證書と共に停車場に持參すべきものである然るに個々本籍地で上述の取扱法規を辨へずして居住地で之が交附を受くべきものと思つて乘車證明書を請求しても容易に之が交附を爲さない之が爲め府廳に之が交附を迫り係員を不親切の如く誤解する向もある、之は府廳では

◆甚だ迷惑を 感ずる所で同交附手續の原則として『本籍用す但し鐵道乘車證明書は本籍地の市町村長より交附を受くるものとす』の明文ある事を辨へずに…らである…入營…遲延の消息を承知して證明書を本籍地に請求する場合は同法規を指摘して萬一の行違を避けた方が宜からうと云ふべし兎角此鐵道乘車賃の事は何よりの恩典だから之を無にする樣な事は全く氣の毒な事である……』と

◆入營の爲め歸國する壯丁

◉虎を山中に追ひ込む

永興の虎狩隊

永興方面に向ひたる征虎隊の砲手等は十四日大虎一頭を發見し獨立山麓に追ひ込み目下之と奮鬪中なりとの報來れり（元山特電）

◉鮮滿急行延着

十五日長春發鮮滿急行列車は四平街驛附近に於て機關車に故障を生じ定時より七時間遲れて十六日午前十時奉天發南下せり（奉天特電）

◉朝鮮唯一の佛畫家 金石翁和尙逝く

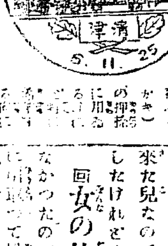
朝鮮唯一の佛畫家として內地にまでその名を傳へられし金石翁和尙は去る十四日安邊郡釋王寺に於て歸寂せり、同和尙は十八歲の時より出家して三十餘年間佛畫研究に沒頭せしが在來の朝鮮の佛畫家の如く物質的の慾なく、天稟の技術優れたるにして朝鮮佛畫界の模範となりしが十數年前鬪閧…を投じ廢頽しつゝある釋王寺の復興を計りたる同寺の今日あるは專ら彼の力に因りしものなるが今年四月中より病に罹り途に今回歸寂せるもの朝鮮佛敎界のため惜むべき事なり

●米婦人チフテリア 京城貞洞二十七番地米國婦人ブランチアール、ペアート（三九）は十四日實布的里亞に罹り東大門婦人病院に入院

◉無錢遊興 奈良縣北葛城郡松塚村生れ京城本町二丁目荒井旅館止宿中なりし川虎藏事速水與三（二一）は十三日夜新町遊廓末廣に於て十五圓餘の無錢遊興をなして告訴され本町署にて取調べの上檢事局へ

◉炭百俵詐取 仁義洞の趙漢龍（三六）は外一名の者と共謀して…御用商人と詐はり…平山郡金岩面花岩里の沈相寔より木炭百俵此の價格九十圓のものを詐取し之を林町の木炭商…へ金七十圓にて賣却し其の賣上金を著服せしため龍山署の手に捕はる

◉清會線開通記念日附印



統監府設置以來朝鮮に於て記念通信日附印を使用せしこと既に二十九回だが鐵道開通其他交通の設備の完成の爲めの記念日附印は今回を以て第八回目とする今度の記念日附印を各種の意匠中特に簡明なものを選んだが意匠の示す如く鐵道開通の意を表するに列車進行の圖を以てし菊花を以て十一月の季節を示したり而して同日附印の使用局は清津會寧の兩局で主として第二種郵便物への押捺用…郵便切手を添付…以外の物件で…內地で…に歸する事となりてゐる…鐵道開通其他大典の…紀念すべき…記念日附印に…せ…であらう…加へるらしく…（矢野通信課長）

悲しき別世界 （3）

濟生院養育部 ─孤兒狀況參觀記─

─子供を預けに來た……
─朝鮮の女が母りには─
─その子を捨て行つた─

須藤部長は更に孤兒の身の上について話して見れた。孤兒の身の上については色々な物語が潜んで居りますが中には隨分悲慘なものもあれば又思はず失笑する樣な話もあります。それは何時かの朝でした。或る立派な體格の朝鮮の女が女の兒を一人負つて來て、この小供があるために他へ奉公にも往かれず、自分迄饑死をしなければならない境遇だからどうかこの兒を預かつて見れといふのです。元來本部では經營の關係から孤兒以外には引取らぬ事にしてあるのですからその事を懇々と說明しました、本部で預かる事の出來ない代りに…倉孤兒院支部に紹介狀を書いてやつてそこへ往つて見ろと云つて歸しました。ところが丁度その日の晩でした。警察から棄兒を一人連れて來たんですがよく〳〵見ると豈圖らんや朝の內その女が連れて來た兒なのです、私は實際驚きましたけれども先きその

回 女の住所を聞いて置かなかつたのが手拔りで、仕方なしに引取りましたがその後幾日も經たない內に警察から今度はその子の母が現はれたから戾して見れといふのです。どうも可笑しいと思つてその母親を呼び寄せて見ると、驚かせるかな何時か子を負つて來たその女なのです。これには何にも…と思つて色々聞いて見たけれどもその女は大膽にも自分はこの

回 養育部に來た事がない今日呼ばれて始めて來たといふのです。そしてその兒は始めから棄てるつもりではない、七歲になる男の子に御守りをさせて置いたがその御守りが緣隊に氣を取られてその處まで追いて往つて、歸りに踏疲れてたものだから背に負つてゐた小供を路傍に棄て〻來たのだと、さも事實らしくいふのです（曉星）

運動界

◉京城俱樂部對鐵道俱樂部野球仕合 前週土曜日擧行の筈なりし京城俱樂部對鐵道俱樂部の野球仕合は生憎降雨の爲め延期せしが愈々十七日午後二時より龍山鐵道グラウンドに於て擧行する由なり

◉鶴田醫學士の研學 京城醫學專門學校…醫學士鶴田…氏は…研究の爲め…十八日朝…京城…する由

恩給 年金各位へ 新著
記念に本月十日より十二月廿日迄左記特別步合にて證書及戶籍謄本印鑑證明書御持參の方に卽金立替可仕候（取引は本人直接に限る）
大阪市南區日本橋北詰東入 上州屋 明治卅九年十一月創業 電話長南八〇番

最新刊
雷 斧 壽語 … 新文學槪論 … 結婚の … ひかれものの唄 … 光の巷 … 行者神さまと英雄の話 … 歎と惡 … 岸 … 過 … 藤 … 仙道と仙術 … 新書翰文 … 日用文の作り方文範 … 新らしき文章の作り方 … 最近水力電氣 … 初等方程式論 … 數學重要事項集 … 最新式入學案內
大阪屋號書店

一番よくきく かぜねつさまし 一ぷくにてよくきゝめある キナピリン 本舖 高橋盛大堂藥局

◎店員入用 數名 年齡十七八歲より二十七八歲迄之人 來談の事但保證人を要す 京城本町一丁目 陶榮商店

楠ミシン商會 新古ミシン賣買 針・油・部分品 ミシン修繕 ○○地方代金引換 ○○市內電話にて御注文次第配達

新荷著 懷中時計 ニッケル側 … 兩蓋 … 腕卷時計 … インゲレッシー商會 本店京城本町二丁目 電話九七二番

渡部製靴店 擴張 特製甲 …

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四〇番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治 岡山醫學士 上野亮藏

醇良清酒 大阪府堺市 醸造元 吧塚源次郞 京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郞（電話長二九番）

進呈 百圓 りん病 ばい毒 帝國醫科大學 … にせ物にご注意 大阪有田 … 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會滿鮮本部 … 其他の藥店に販賣を不許 京城南大門外 大阪 ドラッグ商會

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

內科、眼科、小兒科 本田醫院 京城黃金町三丁目 電話二四三番 院長 本田建義
痔核。痔瘻。脫肛痔。裂痔。痔出血。直腸脫 京城肛門病院

櫻御殿

第六十九回 安藝の月（九）

大阪 霞の家主人

「此の小供からお身の上を承はつて、可憐しう存じました、致たらねど御方樣のお側近う仕へる者、將來お力にも爲たいと思ひます、お心置なくお話合をなされませ」

初瀬は、村平主從に向て云つた

「お醫樣で蘇生ります、お醫樣で助かります、先刻も申す通り、わたくしは何の樣になりましても、和子樣だけはお助け申したうござります、枝とお爲り下さりませ」

村平は[illegible]に云つた

の御親切を見込み、幾重にも願ひます、幾重にも頼みます」

「宜しうござりますとも、お引き受け致すからは、身に引き受けてお世話致し、將來は備後守樣お目見得も協ふやうに致します、それに御安心なされませ」

「千萬忝うござります」と村平は涙を光らせ「備後守樣と仰せ遊ばしたは、刑部樣の事でござりまするか」

「[illegible]大夫樣でござります」

「おゝ」と、村平はその名に[illegible]な目色をして[illegible]

「委細を心得、わたくしの弟と思ひ、何處までもお世話致します、して此の和子はお名を何と申します」

「釆女樣と申します」

「紀州畠山殿の御家來と仰せられたの」

「畠山樣身內、三國勇介樣、聞こえたお士でござります、世が世であつたら、槍つかせ、馬に乘り、行裝美々しく御道中を爲さらうもの、お供を申しては村平ばかり、敝草鞋に道芝の露をお踏み遊ばすかと思ふと、お不憫さに涙が溢れます、わたくしは大病、此の上の御奉公は爲り離ねまするで南宮山の土になるとも、または町人百姓に雇はれて、辛い世を送りまするとも、爲るやうに爲つて果てたい心得まするが、和子さまだけは世に出したうござります、あなた樣、刑部樣、お名は豫ら聞いて居ります」

「日頃お情深いお方、釆女殿の擁護を聞き捨てには遊ばすまいと思ひます、それも御安心なされませ」

初瀬は何處までも親切に云つた

胸に思ひを抱く身は、人の不幸に情する心が湧いて、裏の裏まで透すだけの力が無い、村平は釆女の手をじつと握つて

「和子さま、身に染みてお聞きなされませ、宜しうござりますか、常々村平の申し上げた事を、お忘れなされては爲りませぬぞ」

「おゝ／＼」と釆女は强く點頭た

「わたくしは後に殘ります、あなたは此のお方の御親切にお縋りなされませ、斯うして福島樣のお身內に救はれたまふも、お父樣の御手引でござりまするぞ」

「村平、忘れはせぬ、忘れはいつまでも忘れはせぬ」

釆女は村平の眼を見て云つた

「あなたのお脇差はお父樣のお記念でござります、いかな事があつてもそればかりはお放しなされますな」

「放さぬ／＼、この脇差を放すときは、わしの命の終る時ぢや」

「よう仰せなされました、そのお詞を承はるにつけて、旦那樣の御臨終が思ひ出されてなりませぬ」

村平の目から熱い涙が迸しる

[illegible]刑部殿こそ[illegible]御合戰[illegible]ませ、御家中の數は多けれど、御近習頭の松尾清之丞樣、義理深いお方でござります、お袖にお縋りなされたら、惡いやうには遊ばすまい、きつとお尋ねなされませ」

初瀬は現在伊家を寄せ付ける手術を授けた、村平は續いて感謝の意を述べる

皮膚科
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目
佐藤醫院
（電話一一七三番）

◇嬰兒の

であるから此の間に外からでも內からでも惡い作用を受ければ身體發育に影響を及ぼして妙な癖になる事が往々あります、顏面が半分形になつて居るのは時に左枕にばかりとか右枕にばかりとか片枕をさせた爲めであります、[illegible]

◇瓢箪の

[illegible]

◇肺結核

[illegible]

山河水雪 百五十里行（十）

芳宙

狗峴嶺

石を疊める氷雨の中に苦力が炊ける

針のごと裸木並ぶ同じ峰哉

古仁里

冬の雨を六里來て晝飯炊がしぬ

○

我を脅かす我が從者の夜寒き道

吉多洞の酢入熊館にて、

夜の底を顛へす氷雨戸に聞ぐ哉

新米の飯の白さ鑵詰を切りたり

江界郡武坪里 江界江を[illegible]

霙刷ける山街を河は流るゝ見ねさる

別加里

霧の中に我が傭の音のみが聞ゆ

鶏飯を炊かす間の氷雨又降り出せり

九孝嶺

溪に落ちゆく道を脛して雪輝かな

□小供には筒袖がよい

=附紐はお止めなさい= 結び所にも注意なさい=

子供の身體は骨格も筋肉も軟かい上に日夜ドン／＼生長して行くの[illegible]時代にはモ少し下の所で結んだ方が身體の利益になります

◎漢文世界の好評 [illegible]

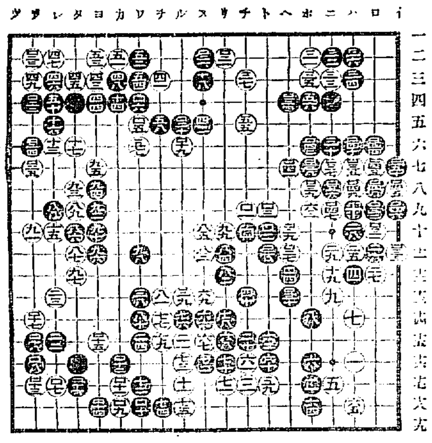
◎實業青年の寶目 [illegible]

圍碁手合（五）

三段 山平 季氏

三子 來見治一氏

白リ二の二（百二十一）より黒イの七（百五十）迄



大阪株式問屋

十七日附本紙夕刊に掲載せし十五日後場の出來値は本欄の通り訂正す

十五日 十六日

大阪商船 日本郵船 同新株 東京米株 東京株式 [illegible]

大阪期米

十六日後場 當限寄付 [illegible]

買物多く八錢と返し七錢引二節中七十六錢八錢七錢八錢七錢三節七二十圓十五錢と寄り先大阪の變は十八錢七錢六錢五錢四節七十四錢らざる入電に七十六錢七八錢を往五錢六錢五錢六錢七錢六錢來し大阪安報に五錢と二り四節中十五錢より十八錢先四錢より七錢

仁川米豆取引所

半	一節	十九圓七十七錢
均	二節	十九圓七十七錢
段	三節	十九圓七十七錢
值	四節	十九圓七十六錢

御婦人一生の大事たる

御婚禮のお化粧には

明[illegible]【第一に】[illegible]も確かに有效な日本名物クラブ洗粉で叮嚀に顏を洗ひ、[illegible]【第二に】[illegible]のお化粧下クラブ美身クリームを顏から襟にかけて薄く引き、指先で能く擦りこんで[illegible]タオルで輕く拭き取り、【第三に】

東京でも、大阪でも、最も上流の御婚禮には定評ある右記のお化粧法が專ら採用されて居ります。

一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

（生地まで白くなる）

手の掌に取つて、指先で能く煉つてつけ、（襟は顏よりも少し濃くする事）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせ、【第四に】お顏にホンノリ櫻色の健康色を添へるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷き、【第五に】お化粧を一段と引立てるクラブ粉白粉をセーム革につけて薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕く打つて置きます。高尚で美しい淑女式お化粧が出來上るのでございます。中流以上の御婚禮には皆此のお化粧法でございます。

淑女式お化粧の順序
クラブ洗粉
クラブクリーム
クラブ白粉
牡丹はけ
水はけ
ぬれタオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉
美人